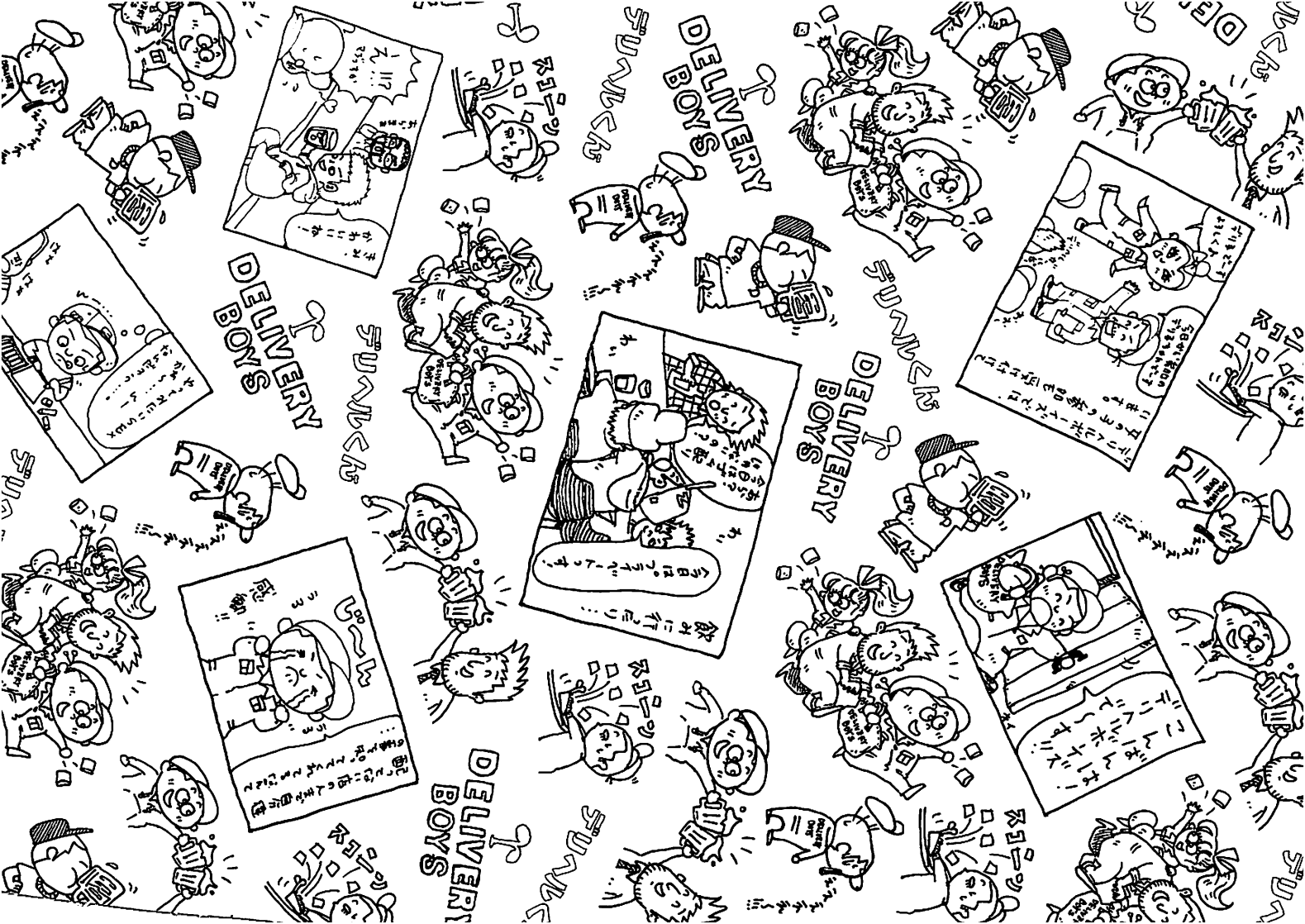




akta monthly schedule
特別編集

ドリヘル
くんが聞く!
穴撃 大 手 インタ
ビュー!!

akta
community center



はじめに

この冊子では、community center akta が、毎月発行している「akta monthly schedule」内の「デリヘルくんが聞く！突撃インタビュー!!」より、2019年3月号までのインタビュー内容を掲載しています。

コミュニティセンター創設当初は、aktaの月間スケジュールのみを掲載していたマンスリーペーパーですが、数々のイラストレーターやデザイナー、コミュニティの皆様にご協力頂きながら、形を変え様々な情報を掲載してまいりました。

2017年4月より、aktaの利用スケジュールとトピックのみを載せた現在の形態となり、2017年8月よりコンドームを設置させてもらっているバーのママやスタッフへのインタビューがスタートとなりました。

デリバリーボーイズでは現在約170店舗のBARにご協力をして頂き、コンドームを届けています。

長年にわたる毎週の活動を通して、このインタビューに応じてくれるまでの関係性を築くことが出来ました。

BARのインタビューは、デリバリーボーイズに関連するお話や、お店の情報、プライベートな事まで、バラエティーに富んだ内容となっています。

インタビュー中も和気あいあいとした雰囲気の中、とても貴重なお話を聞くことが出来ました。インタビュー内容はWEBでも閲覧することが出来ますが、その内容の一部をこの冊子にまとめています。

気になるお店があったら遊びに行ってみて下さいね。



Let's INTERVIEW BAR MAP

デリヘルくんが聞く! 空撃インタビュー!!

マップ

「デリヘルくんが聞く! 空撃インタビュー!!」より、2019年3月号までの全19店舗+デリバリーボーイズのインタビューを掲載!!
気になるお店があったらぜひ、遊びに行ってみてね☆☆☆



17

TAC'S KNOT
新宿区新宿3-11-12
永谷クリエイトビル202

西武新宿駅方面

- 靖国通り
- 交番
- ファミリーマート
- 御苑大通り
- セブンイレブン
- ファミリーマート
- ファミリーマート

BIGSビル



08

九州男
新宿区新宿2-17-1
サンフラワービル3F

●ファミリーマート

花園通り

●ローソン



15

LOGOS
新宿区新宿2-11-7
第33宮廷ビル2F



●セブンイレブン

●セブンイレブン

●セブンイレブン

●セブンイレブン

●セブンイレブン

●セブンイレブン

JR・小田急・京王
新宿駅方面

●セブンイレブン



13

EAGLE Tokyo
新宿区新宿2-12-13

Bace
新宿区新宿2-10-3
井上ビル2FA



新宿通り
ジョナサン●

07

キャラバン
新宿区新宿2-12-14
ニューファミビル7F



01

Bridge
新宿区新宿2-13-16
SENSHOビル6F



19

ALAMAS CAFE
新宿区新宿2-12-1ガーネットビル1F

06



もくじ

20



05



community center akta
新宿区新宿2-15-13 第2中江ビル301



03

rumblefish
新宿区新宿2-16-11
サンファミビル203



02

豆
新宿区新宿2-15-13
ナカエビルIII-201



14

DUMP
新宿区新宿2-15-13
二丁目のビル2F



しゃあしか!

成覚寺
正受院

ペローチェ

酔処がいずば

16



新宿区新宿2-14-10
第二篠原ビル1-1

DANTOTSU

新宿区新宿2-14-9 島崎ビル401



11

新宿公園

太宗寺



10

GOAL

新宿区新宿2-14-3 大木ビル301

- 01 Base (P4-P5)
- 02 豆 (P6-P7)
- 03 rumblefish (P8-P95)
- 04 ドンぱん (P10-P11)
- 05 DUMP (P12-P13)
- 06 Bridge (P14-P15)
- 07 キャラバン (P16-P17)
- 08 九州男 (P18-P19)
- 09 R Diner (P20-P21)
- 10 GOAL (P22-P23)

- 11 しゃあしか! (P24-P25)
- 12 MAG2 (P26-P27)
- 13 EAGLE Tokyo (P28-P29)
- 14 酔処がいずば (P30-P31)
- 15 LOGOS (P32-P33)
- 16 DANTOTSU (P34-P35)
- 17 TAC'S KNOT (P36-P37)
- 18 Paradise BLUE (P38-P39)
- 19 ALAMAS CAFE (P40-P41)
- 20 デリバリーボーイズ (P42-P43)

新宿区新宿2-18-10
新千鳥街ビル

Paradise BLUE

04



ドンぱん

12



09

R Diner

新宿区新宿2-15-2 1F



18

MAG2



13

“ 兄貴系のお店・Baseさんの考える これからの二丁目 ”

(掲載号:2017年8月号)



01

Toshi (トシ)さん

Base(ベース)

東京都新宿区新宿2-10-3

井上ビル2FA

TEL 03-6457-8104

営業時間 19:00~翌2:00

(週末~翌4:00) 定休日:火曜日

base.sub.jp



Q: デリバリーボーイズ訪問時のエピソードを教えてください!



トシさん: デリバリーボーイズが来たときはできるだけ声は掛けるようにしています。

「今日は1人なの?」とか、久しぶりに来る子が来たときには「久しぶりだね〜」とか「暑いのに大変だね〜」とか。

変な話、お客さんから色々お菓子をもらったりとかもするんだけど、それがあるときは必ず渡しています(笑)。これ後で食べな〜とか言ったりして。



Q: コンドームに関してのエピソードはありますか?



トシさん: 結構ウチは太めとか、兄貴系の店なので、それに準ずるパッケージのときは減りが早いはず(笑)。

トイレにあるから、オシッコしているとき目の前にあって「お!可愛いかも」って持って来て話題にはなります。パッケージ次第(笑)。

あと、ウチは外国人のお客さんが多くて、来た後は割とごっそり減っている(笑)。

意識が高いのか、タダだから持っていきのかよく分からないけど、減る確率は高い。他のフリーペーパーやイベントのフライヤーとかも、デザインが

可愛いとか、イケてるとか珍しがって持っていくの。それに準じてると思うんだけど、コンドームのパッケージも可愛いとか、あ、日本はこんなものがあるんだ、とか。



Q: 今、お店で(または個人的に)流行っていることはありますか?



トシさん: ウチはオヤジが多いんだけど、未だにポケモンGOをやっている人が多い(笑)。

巷の話題では、継続してやっているのは親父だけっていう(笑)。若い子はとくに飽きてブームは去っているけど、僕もお客さんもやっていて、偶然にも隣のビルがスポットになっているので、(お店にただで)モンスターが出てきたり、モンスターボールの補充ができたりして、結構ウチでやる人が(笑)。

オヤジたちは、バトルとかじゃなくて、キャラクター集めが楽しくて、可愛いのがいるので、キャラクターを集めることと、進化させることでやってますね。

あと、日本酒の冷をいっぱい置くようになったので、日本酒の話とかは一応BARとして出ますね。



Q: 今後、二丁目がどうあって欲しいと思いますか？



トシさん：問題いっぱい（笑）。今一番問題になっているのがゴミ問題！

週末は二丁目ってゴミ収集車が来ないので、交差点のところとか、こんな（両手を広げながら）になるじゃない。今ちょっと議題にっていて、解決策を模索しているところ。

やっぱり 2020 年に東京オリンピックとかもあるし、どんな人が来て楽しめる街になって欲しいって僕は思っていて、やっぱり世界の二丁目なので世界から注目されているし、その中でエチケット・マナー啓蒙活動とかをどうしていくか。一般の生活している人もいっぱいいるので、そういう人達に迷惑が掛かるようではね。それもあって公園が夜間閉鎖になった前例が有るので。トータルで街の治安とかマナーとかモラルとか、そこはもうこれから考えなくてはいけない。



Q: 二丁目祭りにはどんな思いがあって今回臨みますか？



トシさん：これは毎回なんだけど、飲み屋離れとか、便利な世の中だからね、飲み屋に出なくても出会いとか交流とかが持てる時代ではあるけど、やっぱり二丁目って街は直接人が相対して触れ合うことができる場であって、それをもっと尊重してまたどんどん二丁目においでね、とか。

プラス、さっきの問題も含めて二丁目が好きならば二丁目がこれからも発展するように、みんなで協力し合って、いい街にしていきたいよっていうことを訴える大前提のお祭りなので、よりよい発展や、時代に合わせて変化していくことも大事だし、二丁目は楽しいんだよってという思いを伝えつつ、二丁目のこれからのために皆で頑張ろうよ～って、それは参加しているママたちも含めていつも訴えている。



Q: お店の告知や、宣伝などあればお願いします。



トシさん：Base も今年の 9 月で 20 周年になります。どうかこうにか 20 年やらせて頂いて、9 月にはちょっと盛大にパーティーを予定しているんですけど。若い子が中心の二丁目の中で、どんどんうちのお客さんは高齢化が進んでいて、40～50 代が多い店にはなっているんですけど、僕自身とっても二丁目大好きで、他の街に移ることは考えて無くて、身体が元気で動くうちはこの街でやっていきたいなあと…、大人 BAR だから行きづらいとか若い子に言われているらしく（笑）、若い子とか大歓迎なので、来てくれると嬉しいです。若い子に嫌煙されるのよ、拳句二丁目振興会の会長のお店でしょ？っていう、なんか厳しそうとか、硬そうとか、怖そうとかってイメージが先走りして若い子が寄り付かないのよ…宣伝しといてね？若い子でしょ？

デリヘルくん：そんなことないですけど。

トシさん：いくつ？

デリヘルくん：20 代です。

トシさん：てめえ～！（笑）びっくり！20 代で若くないですって言われたら俺の半分以下だよ？息子な年だからね？

デリヘルくん：息子と思って下さい。

トシさん：思うよ、だから厳しいよ？

デリヘルくん：ひえええ



“無銭は困るが誰でも来い！ ヒールを脱いだクィーンの素顔！”

(掲載号:2017年9月号)



左: あくせるさん

02

豆(mame)

東京都新宿区新宿2-15-13
ナカエビルIII-201 (階段の2階)
TEL 03-3354-6077 (営業日のみ)
営業時間 20:00~
あくせるが帰りたいくなるまで
定休日 月・火・水
(土はブリーフ)



Q: デリバリーボーイズ訪問時のエピソードを教えてください！



あくせるさん: 去年のレインボーライドかな? でフロート案内の所で話してた子と、ここでバッタリ再会したり、あとわたしも Twitter をやっているの、意外と繋がっている人も来たりとか…なんかかそういう再会系がありますね。

デリヘルくん: 結構それイベントとかで会ったときとか塗ってる状態だったりするじゃないですか?

あくせるさん: そうね、だからよくあるんです。どっちで会ってるかわからないとき(笑)「お久しぶりです! デリバリーボーイズやってるんですね~」とか言うと、「え? あ、どこでお会いしましたっけ?」とか言われて「あ、イベントで、アクセルです」とか言うと「あ!」って。割とね普段はクィーンやってるから、ここはすっぴんでやってるので、そのギャップがおもしろですね。



Q: お店の名前(豆/まめ)の由来はなんですか?



あくせるさん: ぼくが名古屋で初めてお店入ったのが豆句(ズク)って

うんですけど、初めて行ったゲイバーも、働いたのも豆句だったし、でもわたし昔ちょー喋れなかったし、ちょー小さかったのね、まあひじょうにピシバシとしごかれまして…もうそのお店ないんですけど、ただまあキッカケになったと言うか、ホモ友だちとかもそこから広がったから、まあ初心に帰れるように一文字。友だちの間では豆句のこと豆行こう豆行こうって言ってたのもあって。元ママに連絡して「間借りでお店やることになったんで、一文字いただいで豆と看板をあげたいと思います」って言ったら、「あ、どうぞどうぞ、嬉しいわね」って、今名古屋でチーママなんですって、また豆句が復活してくれたらいいなと思ってますけどね。



Q: 今、お店で(または個人的に)流行っていることはありますか?



あくせるさん: 流行ってるっていうか、ダイエットをついにしようという気持ちになりまして、わたしお店に入ってから半年で 15kg くらい太ったんですよ。結構その増えるペースが加速度的にっていうか、ざっと見積もって年内に 3 倍行っつてのがわかったんで、こりゃダメだと。別に太っても良いって言ってくれる人がいればいいんですけど、女装の衣装が入らないという由々しき問題が(笑)、でも店終わってから

朝ごはん行こうよーってなったら、だいたいこの辺で朝やってるのって、ラーメン！うどん！焼肉！みたいな、でもベロベロに酔っ払ってると必ず焼肉しちゃうんですよ！まあ焼肉はいいんだけど、焼肉と一緒に米食べるのはダメね！でも、もう1週間になるかな？先週からね、炭水化物ほぼ食べてない！さっきもね、店の途中でお腹空くじゃん？で、いつもね、コレを食べてたの(ラーメン太郎)、お腹空くとコレをバーッとあけてお湯でふやかして食べたり(笑)、ダメだなと思って、今日はこーいったものを(サラダとサラダチキン)GOGO かよって(笑)、今年の夏は間に合いそうにないので、来年の夏をわたしは見据えておりますので、来年の夏…ホモ活動出来るように(笑)



Q: クィーンとしての自分の役割のようなのを感じていますか？



あくせるさん: 今活動休止されているけどフーチ葉さんって、イベントで誰一人残らず喋りかけるんですよ、だから出演者の中でも内輪でわーってなっちゃうとか、いつものメンバーで集まってとかなっちゃうけど、クィーンがいるのは、そうじゃないぽーんと壁になっている人に、もっと飲みなよ！じゃないけど、おちゃらけて巻き込んであげるーとか、1人にならないようにするっていう、そういうのはフーチ葉さんから非常に学んだところで、盛り上げる仕事だと思われがちだけど、楽しんでない人を減らすのがとって大事。みんなに気持ちよく帰ってもらうのが商売として一番いいかなと思います。



Q: クィーンのとときと、すっぴんのとときの使い分けはしてますか？



あくせるさん: それがね、あんまりないんだよ(笑)、別に喋り方も変わるもないもんね、結構人格を作る人もいるよね、普段はマスクして目深に被ってこう…、でもわたしとかは普通にクラブ出て友だちとかいたら「あ、もう終わった、帰るわ」とか話しかけると、他のクィーンさんが「やめてよ…すっぴんバレルじゃん」って(笑)、なので全然使い分けません。だから両方あくせるって名前付けたもん、すっぴんの名前と一緒に人ってほぼいないかな？まあ女装の方が気は大きくなってるのはあるけどね。物理的にヒール履くとね、非常にこう強気になれるというか、背中を押される。だからヒール履いててテンションが上がってるだけです(笑)まったく変わらない。

Q: お店の告知や、宣伝などあればお願いします。

あくせるさん: 酒屋で残り1本！とか、在庫処分！みたいな訳の分からないお酒買ってくるんですけど…吉永小百合プロデュース！ジャケ買いしました(笑)



デルヘルくん: ジャー豆さんに来たら変わったお酒が飲めるんですね？(笑)

あくせるさん: 近々ハブ酒を入れようと思って「滋養強壮に良いんだよ〜♡」って、ショットで3000円くらいかな？(笑)

デリヘルくん: 高い(笑)

あくせるさん: でもわたしが1人でほぼほやっている事が割りと多いですけど、老若男女、無賃は困りますが、それ以外の人は概ね大丈夫なので、お気軽に起こして下さい。



“ゲイバーみたいな魚の生態？ ランブルフィッシュの名前の由来！” (掲載号:2017年10月号)



さんきちさん

rumblefish

東京都新宿区新宿2-16-11

サンファミビル203

TEL 03-3351-0728

営業時間 20:00~

定休日(祝前日の日曜日は営業)

※さんきちさんは月火水金土
祝前日の日曜日にいます



Q: デリバリーボーイズ訪問時のエピソードを教えてください！



さんきちさん: 俺じゃないけど、うちのオーナーがよく絡むのね。可愛い子が来たら可愛いって言うし、ちょっと年輩の方が来ると、あなたボーイズじゃないわよね？みたいな(笑)、あと女の子で真木よう子さんにそっくりな女の子が来て、真木よう子さんですよ？って言ったり…そういう絡む感じがいつも印象に残ってますね。僕はあんまり絡まないんですけど、そのやり取りを見守ってます(笑)。



Q: コンドームをキッカケに会話になることは？



さんきちさん: 外国人のお客さんがこの数年増えてきて、それをエスコートを日本人の子がするじゃない？そのときに記念として外国に持って帰るなって言って(コンドームを)渡してる光景をたまに見るよ。お土産に日本の絵が書いてあるコンドームを持って帰るなって言ってプレゼントしてる…まああなたのプレゼントじゃないって感じだけど！(笑) 昔はそういうのなかったけどね。

あとやっぱり人気のパッケージってあるよね、これが可愛いって持って帰ったりとか。やっぱりデ

ザインや絵で選んでる気がする、コンドームって。デリヘルくん: ランブルさんではどんな絵柄が人気なんですか？

さんきちさん: あの…マンガ？人気の人が描いたやつ。

デリヘルくん: ああ～イラスト？



さんきちさん: そうそうイラスト！マンガじゃないね！イラスト系のやつが人気！



Q: お店の名前 (rumblefish / ランブルフィッシュ) の由来はなんですか？



さんきちさん: オーナーが付けたんだけど、ランブルフィッシュっていう魚いるの、ベタのこと。ベタってわかる？水槽で水があれば生きていける魚。ひとつの水槽に雄が複数いると、その雄同士がすごい喧嘩するんだって。それがなんかゲイバーみたいな感じだからって付けたって言ってたよな…。





Q: ちなみにトイレの照明が赤いですが何故ですか？



さんきちさん：トイレの鏡で自分が酔っ払ってる姿をみてドン引きしないように、もっと酔わせるように赤くしてます(笑) あとランブルフィッシュのテーマカラーも赤だし。

デリヘルくん: なんで赤なんですか？

さんきちさん：なんででしょうね？(笑) あんまり勝手にベラベラ喋れないけど、たぶんランブルフィッシュって魚が真っ赤な…

デリヘルくん: そーなんですね！！

さんきちさん：じゃない？(笑)

デリヘルくん: あー、じゃあちょっと調べときますね(笑) ※ちゃんと赤い魚でした。

さんきちさん：ごめんなさいね、僕が付けたんじゃないんで、勝手に喋るなって怒られるかもしれない(笑)



Q: お店の壁にいっぱい写真が貼ってありますが？



さんきちさん：オープン当時にこの壁をお客さんの写真で埋めようってポラロイドカメラで撮って貼ってたんだけど、途中で製造中止になったんだよね。フィルムももう無くなって買えなくなったの。それで終わっちゃったんだけど、本当はもっと貼る予定だったよ。

デリヘルくん: まだ残してあるんですね？

さんきちさん：たぶんこれ剥がすと壁がえらい汚いことになると思うしね～。

ちょっと剥がれてる所あるけど、カップルで写真撮って別れたから剥がしたとか、自然に剥がれたとか。もうこれも10年以上経つしね。



Q: 今、お店で(または個人的に)流行っていることはありますか？



さんきちさん：ちくわダイエット！ごはんの代わりにちくわを食べてダイエットするっていう…。今はそれちょっと休止してるんだけど、春夏でやって10kg痩せた！安いしカロリー少ないんだよ、あれはダイエットにめちゃめちゃいいです！

デリヘルくん: 太さのこだわりとかあるんですか？



さんきちさん：俺はないんだけど、お客さんによってはどこそこのちくわが良いとか良くないとかは聞くけど、俺はよくわかんない！(笑)

デリヘルくん: お客さんも一緒にやってるんですね？

さんきちさん：そうそう！やりました(笑)。



Q: 今後、二丁目がどうあって欲しいと思いますか？



さんきちさん：最近二目とかゲイの人がよくテレビに出るでしょ？で、ノンケのお客さんが結構二目に出てくるようになってから、ゲイの人が行きにくい街になってきている感じがするので、もうちょっとゲイの人が来やすい街になって欲しいなって思ってます。会社の人が最近二目に出てみたいなんだよね、どうしよう的な話をよく聞きますよ。まあいい面もあるけどね。ゲイの人に対する免疫みたいのがついたり、もし二目で見かけられてもノンケのふりして「ちょっと二目に遊びに来てて」みたいな。



Q: お店の告知や、宣伝などあればお願いします。



さんきちさん：なんか、あそこのお店ハードルが高いつたまに言われるんだけど、全然大丈夫です本当に。気軽にきてください。お一人の人でも、初めての人でも、もっと来て欲しいなって思ってます。

デリヘルくん: お店のパーティーとかはありますか？

さんきちさん：今年は特に大々的にやらないかな？来年15周年なんで。

デリヘルくん: 来年まで寝かせておいたほうがいいですか？(インタビュー)

さんきちさん：いやいやいやいや寝かすってすごいね(笑)

デリヘルくん: 熟成(笑)



“二丁目の東屋を目指して! (掲載号:2017年11月号) 多様なコミュニケーションに込めた願い!”



04

デキヒさん

ドンぱん

東京都新宿区新宿2-18-10
 新千鳥街2F
 TEL 03-6273-1571
 営業時間 月火21:00~翌1:00、
 水21:00~翌5:00、
 金土20:00~翌5:00、
 日21:00~翌3:00
 定休日 木曜日



Q: デリバーボーイズ訪問時のエピソードを教えてください!



デキヒさん: 印象に残ってるのは、ここに来て補充して帰るときに、いつもちょこっと話しをするんだけど、印象付いてくれたのか、その後お店に来てくれたのが俺の中で1番嬉しかった。ああ雰囲気みてここ来たいと思ってくれたんだあって。お客さんも金曜日に来るの(デリバーボーイズが)わかっているから「今日は違う子だね~」って言いながら絡んで、意外と溶け込んでってんだなあって微笑ましく思いながら見てるよ。



Q: コンドームを設置して変わったことは?



デキヒさん: なんでコンドームが配られるの?って話しになることもあるんだけど、それって効果的だと思うんだよね。啓発じゃないけど、そういった話しも出来るし、話題にもなるからね、デザインは特にだけど、ローション付きかそうじゃないかで争奪戦になるから(笑)。イラスト系はこっちの子にも多いから、そこら辺のコミュニティにもなるのかなって。うちのスタッフもだけど、お客さんに絵師さんが多いの。う

ちね1枚絵を描いたら1杯タダなの。デリヘルくん: ええ~!! そうなんですか!!? 描きに来なきゃ!!

デキヒさん: 絵師割(笑) 今度集まった作品でプチ展示をしようと思って。



デリヘルくん: わあ、いいですねえ!(ぼくの作品も…dkdk)

デキヒさん: ここ東屋みたいな場所にしてくて、どっかで疲れたらここに来て休んで、また行っておいでって場所にしたかったんだよね。絵師さんたちってコミュニケーションがあまり得意じゃない人も多いけど、たまに絵師さん同士がかぶって、〇〇さんなんですね~みたいのがあったり。一般のゲイバーの中でもちょっと特殊なことが起きたりするので、それをやれるキッカケになればと思って。



Q: デリバーボーイズの活動に協力しようと思ったキッカケは?



デキヒさん: いろんな情報誌持って来てくれるでしょ? それみたいなあと思って、それこそ akta の monthly paper とか、お客さん友達含めて情報誌としてすごく活用してます。

デリヘルくん: 表紙やモデルのインタビューだけ

じゃなくて、HIVの情報なんかも見ますか？

デキヒさん：見てる。俺一応、啓発運動してる側の人間なので、保健所の先生とHIV感染が増えてるって話をしてて、でも薬でウィルス量を検出限界以下まで抑えることも出来るようになって、確かな知識として最新の情報を持つてすごい重要だなって。

薬の副作用で寝れなかったり、急激に痩せた人もいるし、だけどそれを超えて「今抑えられたんだよね」って喜びながら酒飲んでる奴もいるし、それってaktaの情報誌で話したり、そういう人達がいるっていう確かなものが、みんなの助けになっていると思う。



Q：お店の名前（ドンぱん）の由来はなんですか？



デキヒさん：ドンぱんってドンパン節っていう秋田の民謡から取ってきた名前なのね。秋田の中で元気をつける為の歌として広まったんだけど、それがいま全国に広がってるっていうすごい歌なんだ。うちの表記はカタカナとひらがなが混じってるんだけど、老若男女、外国人とか全部含めて、いろんな人が来てもらえるようになって付けたんだ。



Q：今、お店で（または個人的に）流行っていることはありますか？



デキヒさん：お店の中で流行ってるのはコレ（シーズニング）だね！とんがりコーンって食べたことある？まずこのリングポテト食べてみて！

デリヘルくん：もぐもぐ…おいしい！

デキヒさん：普通でしょ？これにまずコーンポ



タージュ味を入れてシェイクをします（シャカシャカ）これで下味が付きました。その後にバター醤油少々、コンソメ少々…これで混ぜます（シャカシャカ）はい、食べてみて！

デリヘルくん：もぐもぐ…!? こ、これは…!! とんがりコーンだ!!!

デキヒさん：でしょ？（笑）

こういうもので遊んでるの！



Q：今後、二丁目がどうあって欲しいと思いますか？



デキヒさん：それはもう色んな人が飲みに来て欲しいってだけだよ。いまノンケさんも外国人もだいぶ増えたでしょ？それに対応出来なければ、楽しくもないし、寂しさだけが残って、どんどん辞めてっちゃう人もいるし、だったら二丁目が変わるというよりは、二目に合わせてこちらが変わっていきやすいような街になってほしいと思う。まあそれは自分の目標ね、みんなにじゃなくて。だって外国人のお客さんが来て話せないから帰したら、その外国人が何か面白いことを持っているかもしれないじゃん？そういうの逃したくないし。あと最近手話の人達が増えてきて、そういうのを覚えるのも楽しいし。お店だけしか仕事をしてないから、楽しさっていうところのセンサーっていうのが際立ってくるんだよね。今まで気づけなかったこと。外国人の方とコミュニケーションが成立したときのあの気持ちよさってなかなか味わえないと思うから。

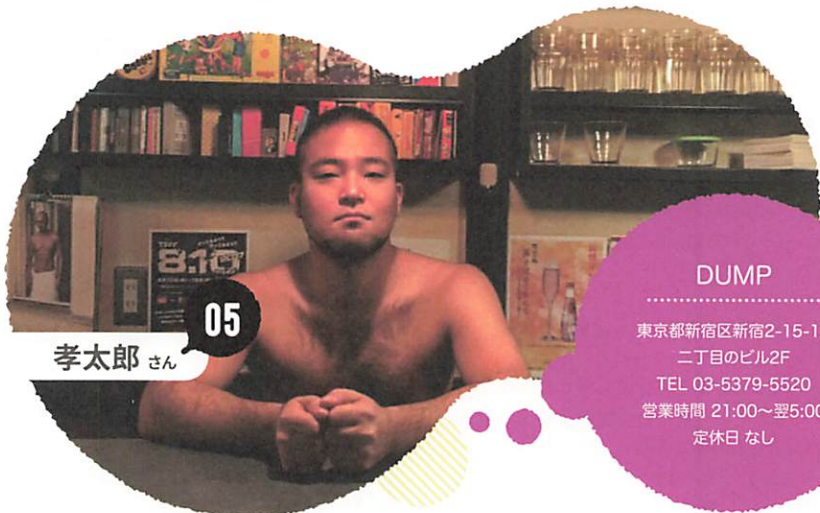


Q：お店の告知や、宣伝などあればお願いします。



デキヒさん：もし人とのコミュニケーションに飢えてたり、自分を褒めたいって思う人がいるんだったら是非遊びに来て欲しい。なんかこう距離が近い店だと思ってくれば、0距離しちゃう人なので（笑）。気を抜きたかったら遊びに来てね。

“僕に勝てたら何かあげるよ！ ゲームも楽しめる脱ぎ系BAR！” (掲載号:2017年12月号)



05

孝太郎さん

DUMP

東京都新宿区新宿2-15-13
二丁目のビル2F
TEL 03-5379-5520
営業時間 21:00~翌5:00
定休日なし



Q: 巻物 BAR ??? について教えてください。

孝太郎さん: うちの DOCK っていう老舗の脱ぎエロ系 BAR の姉妹店なんですけど、新しく開くにあたって色々考えたんですけど、僕がまずパンツを穿く習慣がないので…

デリヘルくん: 今日もノーパンですか??//

孝太郎さん: 穿いてない! 凄いなよ。

デリヘルくん: ほくもノーパンにしようかな…//

孝太郎さん: コンセプトなんですけど、コレ(店内にあるマップを取り出す) エロ BAR マップで、エロ BAR でしか配ってないんですけど、色んなところを紹介したくて、二丁目って色んな選択肢があるんだって、その中でも無いものがないなと思って、そんなとき無かったタオルにしました。

デリヘルくん: タオルの貸し出しもしてるんですけど、持参もありなんですか?

孝太郎さん: もちろん大丈夫です!



デリヘルくん: 今まで 1 番印象的だった巻物は?

孝太郎さん: インフィニティドレスみたいな(笑) わかる? 巻き方次第で色んなカタチに変えられるやつなんだけど、売る気ないんだなこの人はって、お笑い担当みたいな(笑)、まあそういう本気す

ぎない人たちの BAR でもあるので、なんならサリーでもバレオでも、来れるもんなら受けて立つよ(笑)。

デリヘルくん: 1 枚であればいいんですか?

孝太郎さん: そう! 1 枚で巻けるもので、パパと取れるものなら。



Q: 孝太郎さんも昔、デリバリーボーイズとして活動しましたよね?

孝太郎さん: ありました! 13 年前だねアレ。てかまだ続いているのがすごい! ほんとに素晴らしいと思う。

デリバリーボーイズの経験がなかったら、活動に対しても詳しくなかったと思うし、うちエロ BAR だからみんな脱いでるし、冷やかしじゃないけど、ストリートパフォーマンスみたいな来るじゃん?

二丁目って、ドア開けていきなり歌いますよみたいなのか、野菜いかがですか? みたいな(笑)、即で追い出すんだけど、デリバリーボーイズに関しては、あーどうぞどうぞぞみたいな感じだし、活動を知ってるからこそ、お客さんに対して出来る話しみたいなものもあるかなと思います。



Q: コンドームを置こうと思ったきっかけは？



孝太郎さん： こういう BAR だからこそ守らなきゃいけない一線みたいのがすごくあって、脱ぎ系でなんでもやれるんでしょ？って思われるのが嫌で、法律を守るとか、ルールとかもすごくちゃんとしたいの。

その中でも STD のことについてはアンテナを張っていて、お客さんで剃毛してる人がいて、なんで剃毛してるの？って聞いたら、その人は普通にファッションだったんだけど、昔毛じらみがどうのこうのって話しになって、そーゆう話をもっとフランクに出来る場にしたいってのもあって置きたかったです。



Q: コンドームをキッカケに会話になることは？



孝太郎さん： あ、いっぱいありますよ！とりあえず、コンドームは上のベッドスペースと、シャワーのある部屋に置いてるんだけど、口でコンドームの付け方座みたいなのをここで見たことがある。めっちゃうまいよ！みたいな感じで（お客さんが）パパッとやって、あぁすご〜い上手って、みんなであわ〜と盛り上がったのはありました（笑）。

あとこういう BAR なので、とても危機意識というか、リテラシーというかがあって、コンドームは使いますよね、みなさん。味がどうか、使い心地がどうか…味ってのはよくわからないんだけど、そーいう話しをしたりしましたね。

あぁ、あとなんかこーいうのとか、あーゆうの（ディルドやパイプ）とかにもコンドーム付けて使ってますね。



Q: 今、お店



で（または個人的に）流行っていることはありますか？

孝太郎さん： うち毎週木曜日がゲームデーで、みんなでボードゲームを楽しもうって日なんですけど、裸でね（笑）。最近はボードゲームが流行ってますね。エロ BAR なんですけど、エロだけじゃないし、ボードゲームが出来るってあって来てくれ



る人達もいっぱいいます。

あと僕がオセロスーパー強いので、勝てたらなんかあげるよ！万が一勝てたらね。

デリヘルくん： オセロ鍛えて挑戦しに来なきゃ！！

孝太郎さん： ぜひやりましょう！



Q: 今後、二丁目がどうあって欲しいと思いますか？



孝太郎さん： 色々な人が来やすい街になって欲しい。今の二丁目には来やすさや、わかりやすさみたいのが欠けてる気がして、ドア開けないとどんなお店かわかんないし、もっとシンプルでわかりやすい、ここに来ればこれがあるって情報冊子やサイトでもいいんだけど、そういうのがあればいいなって思ってます。あと車椅子の人たちが使えるトイレマップは欲しいですね。それと、今後英語は必要になってくので確実に、強制ではないけど、ある程度は出来るようになるべきだよなとは思ってますね。今後の二丁目の展望ですけど。



Q: お店の告知や、宣伝などあればお願いします。



孝太郎さん： 毎週木曜日がボードゲームの日で、あと毎月最終土曜日がイニシャルDっていう 3000 円飲み放題で、DOCK にも行き来が出来て朝まで飲めるよってイベントがあります。ぜひ気軽に遊びに来てみて下さい！！

“人と人を繋ぐ橋 Bridgeさんのマルチな窓口!” (掲載号:2018年1月号)



Bridge

東京都新宿区新宿2-13-16

SENSHOビル6F

TEL 03-6423-7384

営業時間 月~木20:00~翌2:00

金土20:00~翌4:00

日19:00~0:00

定休日 なし

06

光明さん



Q: コンドームをキッカケに会話になることは?



光明さん: ここをオープンするくらいまでは HIV に関して怖いというか、かかりたくないって人は多かったし、それが近年生で…ってことがすごく増える気がするんですよね。僕は友人を HIV で亡くしているし、感染してるって人もたくさん知っているのでも、これはもうイコール死ぬ病気ではないじゃないですか? そういうことを知ってか知らずか、そんな怖くないんじゃない? とか、なったらなったとき! みたいな人が増えてきているのは間接的に聞くので、やっぱり付けなきゃね! みたいな話はしますけどね。あと恋人同士でも、付き合ったらもういいんじゃない? みたいな…それは好きだからとか信頼を基に言ってるようで、果たしてどうかなって思うこともある。



Q: お店の名前(Bridge)の由来はなんですか?



光明さん: それよく聞かれるんですけど、あんまないんですよ(笑)、単純に覚えやすくって、どっかで聞いたことがあるような名前にしたかったのと、弾く音を入れたくて、深夜ベッドの中でふと「あ、ブリッジだ!」って思っ

ただで、特に意味は…(笑)、「人と人を繋ぐ橋」とか後付のようにホームページとかには書いたりしてるけどね(笑)。



Q: ホームページなどを見ると禁煙 BAR って書かれてますが?



光明さん: それもねえ、僕は今タバコ吸わなくなったけど、全然嫌煙家ではなかったし、禁煙にしようと思ってこの店を開いたわけでもなくて、色々物件探して見つかった場所にたまたまテラスがあったので、だったらと思って、それでもねえ 10 年前って今よりタバコとお酒は一緒に当たり前って印象があったので、女性を入れることと、禁煙にすることは同じくらいどうしようかなと思ったけど、もうそんな時代じゃないなと思って。



Q: 曜日によっては立ち飲みの日もあるんですね?



光明さん: 毎週土曜日に、雨じゃない限りは立ち飲みにしているんですけど、日替わりで立ち飲みになるところって二丁目の中ではたぶんないと思うんだよね。そういう新しいことをしたくて、だから立ち飲み用にカウンターやイスの高さも合わせて作ったし、立って寄りか

かれる…もちろん身長にもよるんだけど、1番心地いいくらいの高さにしてある。

デリヘルくん：ぼくにはちょっと高かったみたいですよ(笑)



光明さん：(笑)、まあいずれにしろリラックスしてもらえたら…あと夏になるとみんなテラスで飲んだりしてるよ。

デリヘルくん：外で飲むのって気持ちいいですよんね。

光明さん：そうそう、あと日曜日は昼間にカフェをやって、昼間は光が差し込むので、この大きい窓は本当によかったなと思う。探し回って辿り着いた甲斐があった。カフェの人気はもちろんスタッフとかのおかげでもあるんだけど、この大きい窓のおかげかなって(笑)。



Q：六尺のイベントがお店でありますよね？



光明さん：これも図らずもなんだけど、家の都合で月に1回関西の方まで帰らなきゃいけないので、日曜日は僕とスタッフの2人でいつも入ってるんだけど、そのスタッフがとても六尺好きで、マスターがいない1日だけ、そういうことをやらせてもらえませんか？って、ちょっと考えたんだけど、それでお客さん来てくれるんだったら別にいいかなと思ってやってみたら、噂が噂を呼んでっていうか、結構盛況で、うちがおもしろいのは、着衣の人もOKなの。(脱ぎ)：3(着衣)くらい。なので脱ぎたくない人も楽しめます。



Q：昔は道路にライトでお店の名前を映してましたよね？



光明さん：当時はビルに看板がなかったのね、着けることも出来たんだけど、ちょっとお金がかかるので、どうせお金がかかるなら変わったことをしたいと思って、ライトで映し出すものを探して着けてたんだけど、そのうち電球やモーターが切れちゃって、取り替えるのにすごいお金がかかるってタイミングで、ちょうどうちのビルに看板が付くってなって、泣く泣く。でももうアレ6~7年前かなあ？

デリヘルくん：そんな前でしたっけ？

光明さん：最初の3~4年だったと思う。だから古い人じゃないと知らないと思う(笑)



デリヘルくん：ヤバイ(笑)。すごい印象的だったから覚えてました。

光明さん：そうだから、さっきも言ったけど、どうせやるなら他にないことをしたかった、立ち飲みもそうだし、テラスも。



Q：今後、二丁目がどうあって欲しいと思いますか？



光明さん：お客さんにはまだまだ来てほしいと思いつつも、当然変化していくのは当たり前だし、それでもフェイス・トゥ・フェイスで関わったり、お酒を嗜んで会話が盛り上がるっていうことはやっぱり必要なと思うので、そういう場所はあって然るべきだと思う。ただゲイバーっていうカテゴリーに関して、これはもう色んな部分で形を変えながらそのニーズに合わせてやっていくことがベターかなって思いますね。



Q：お店の告知や、宣伝などあればお願いします。



光明さん：作田雅弥くんが毎週月曜日にキーボードで弾き語りする Saku Saku マンデー、月1回の六尺デー、日曜日のカフェ営業、他にもポールダンサーのスタッフが入ってたり、あと僕が映画や舞台が好きなのでそういうことも含めて、色んな人が集まる、あまりカテゴライズされないBARなので、是非遊びに来て下さいね。



“老舗BARからバトンパス！ 新生キャラバンと若お母さん？”

(掲載号:2018年2月号)



07 げんきさん

キャラバン

東京都新宿区新宿2-12-14
ニューファミビル7F
TEL 03-3352-6006
営業時間 21:00~翌5:00
(火曜日はスタッフの1人営業)
定休日 なし



Q: コンドームをキッカケに会話になることは?



げんきさん: 若い子がコンドーム持っていき姿を見ると安心するし、せっかくコンドームを持って来てもらってるから、僕らもそれをバトンパスじゃないけど、セーフアセックスやコンドーム使っていくのは大事だよって伝えていきたいなってのはあります。

デリヘルくん: げんきさんもお若いんですね?

げんきさん: いいえ〜!! (笑)

デリヘルくん: 同じ若者として考えや想いはありますか?

げんきさん: 僕自身 HIV や 性感染症については色々調べてるし、そこは必要最低限の知識として持っておきたいってのはあるかな。



Q: 以前からお店はありませんでしたが、受け継いだキッカケを教えてください!



げんきさん: オーナーさんが元々のママさんと 20 年以上の付き合いがあって、ママさんが入院をされて、お店も閉めて、引き払うってところまでいったときに、僕がオーナーとバレーボールを通じて知り合ったんです。たまたま僕も別のお店で働いてたってのもあつ

て、よかつたらお店に立ってくれないか? ってお話を頂きました。正直最初はすごく不安だった、老舗だし、屋敷をそのまま引き継ぐって結構抵抗があった。お店をいざ開いたときにやっぱ知らずに入ってくるお客さんもいて、経緯を説明して飲んでいってくれる人もいるけど、開けてなんか違うって帰っていく人もいて、最初はそれが結構アップダウンがあったから、えーって思ってたけど、昔のお客さんで今も来てくれる人もいて、友達とか前の店のお客さんとか、そういう人達も来て頂いてるから、もうその辺の抵抗感はなく、逆に新しいキャラバンでやっていこうってみんなで話してます。



Q: どんなお店にしようと思ったんですか?



げんきさん: 僕自身がセクシャリティに関して無差別というか、何でも来て感じて、1 番は和気あいあいとみんなで楽しく満足して帰っていけるようなお店をしくて、最近では朝方なイメージも強くて(笑)結構しんどいけど、うちに朝方飲みに来て、もう一軒行って帰ろうっていうのはなんか嫉妬するの。だからうちで最後でみんな帰ってみたい(笑)、とりあえずみんなが満足して帰ってくればいいかな。

で、また来たいとか、どっか良いお店ある？って聞かれたときに、うちの名前が出るような、そんなお店になればいいなぁと思う。



Q: 今、お店で(または個人的に)流行っていることはありますか？



げんきさん: 最近犬を飼ったことかな! ミニチュアピンシャーって、ドベルマンを小さくしたみたいな犬で、ちょーかわいい(笑) お客さんでも結構犬飼ってる人多いから、近かったら散歩行こうとか。

デリヘルくん: お名前は何ていうんですか？

げんきさん: ネイクン(笑) まだ生後五ヶ月くらいで、めっちゃ躰が厳しいけどね。



Q: お店の名前(キャラバン)の由来はなんですか？



げんきさん: キャラバンがフランス語だったかな? 行商人って意味があるんだよね、最初キャラバンってなんだろうって車かかって思ってたんだけど、調べたら商売をする人達の集まりみたいな意味があるみたいで、まさにだね(笑)。僕の勝手な解釈だけど、うち企画で忘年会とか屋形船とかやるんだけど、来ていただいている方とみんな違って、カラオケでもゲームでもいいんだけど、僕の中でみんなで〇〇みたいなイメージがある。



Q: 初めてママをやる事になったときの心境を聞かせて下さい？



げんきさん: 僕自身お客さんにも言ってるけど、あんまりママと思わないでねって(笑)、最初ママって言われることにすごい抵抗があって、じゃーお母さんって言ってとか、なんかお母さんのがしくりくる(笑)。

デリヘルくん: そうかもしれない!!(笑)

げんきさん: うちのスタッフさんにもそうだけど、ママだからって変に気を使われても嫌だから、上下関係の必要なときは必要だけど、堅くなるのも嫌だから普段は別にフラットにしています。最初ママをやってくれてって言われたときは正直えーって思ったけど、やってみたいなって気持ちの方が強かったから、特に戸惑いはなかったかな。



Q: お店の告知や、宣伝などあればお願いします。



げんきさん: もともとお休みだった火曜日にスタッフが1人営業したっていうことで任せてるんですが、火曜日限定で1kg パスタを1人だと10分、2人なら4分で完食したらタダとか、ゲイの方は3000円飲み放題とか、ゆでたまご食べ放題とか(笑)彼なりに1人営業を任されるってことで企画してくれてます。そして2月11日が店を引き継いだ日で周年って感じになります。昔のイメージがまだあるけど、1周年超えれば新しいキャラバンが浸透してくると思うので、これからですよ、徐々に名前を広げていって、あと朝方のお店ってイメージも(笑)。

デリヘルくん: 最後にものけ姫のモロのモノマネが得意と聞いたので、お願いしたいんですが…(笑)

げんきさん: 「お前にサンが救えるか!!」



“名前が財産!!” 二代目ママが語る歴史と未来!” (掲載号:2018年3月号)



九州男

東京都新宿区新宿2-17-1
サンフラワービル3F
TEL 03-3354-5050
営業時間 平日20:00~翌2:00
週末20:00~翌5:00
定休日 なし



Q: デリバリーボーイズ訪問時のエピソードを教えてください!



かつきさん: この間お客さんが、デリバリーの子がタイプだったんだろうね。「ごちそうするから飲んでいきなよ」って(笑)。あれって、お店側の人からしても嬉しい光景なの。ひとつの出会いにもなるし、お店の売上にもいいし(笑)、お客さんも満足する。それで関心を持たれた子がこういうボランティアをしているって話せば、口説いたお客さんはデリバリーボーイズにより関心を持ってくれるだろうし、とってもいいなって感じたことは有る。

デリヘルくん: なるほど。

かつきさん: ゴメンね。二番目にお店の売上のこと言っちゃって(笑)。

デリヘルくん: いやいや!(笑)

かつきさん: お店の売上は四番目くらいに言えばよかったね。

デリヘルくん: !!(笑)



Q: Living Together のど自慢はどのように捉えていますか?



かつきさん: あれはとってもいい企画だと思ってる。主催者側で人を集めてるじゃない? の中で「1人だけでいいから僕

の方で選ばせて」って言って、僕の中でいま目立ってる子、すごく人気のある子、友達の多い子を選んでお願いしてるの。ただ「出て」って言うのだいたい人は断るんだけど、「あなたにお願いしたのは一人でも多くの人に今の現状とか今の情報を知ってもらいたいからなの。だからあなた個人で考えるんじゃないくて、あなた発信で一人でも多くの人に情報持ってってもらいたい。」ってことを話すんだけど、そうすると半分の人が受けてくれるの。それが嬉しいなって思ったりする。誘う人で思いはまちまちだけど、すごくいい企画だと思ってやっています。



Q: お店の名前(九州男/くすお)の由来はなんですか?



かつきさん: まっちゃん(現オーナー)が宮崎出身で九州男児でしょ? 40年前まっちゃんが付き合ってた男性が、まっちゃんがお店を出すときに「九州男って付けなよ、いい名前だから」って名前をくれたみたい。そのときにまっちゃんはビビビッと熱く電気が走るくらい思いで、この名前をもらったみたい。

デリヘルくん: じゃあお店の人が決めたんじゃなくて、頂いたって感じなんですね。

かつきさん: そう。まっちゃんといつも話してる

んだけど、九州男って看板を見て入ってくる一見さんがすごく多いの。「なんで？」って聞いたら、九州出身って人もいれば、この九州男って名前に惹かれて入ってきた人もとても多いから「やっぱりこの名前、お店の看板がすごく財産だね」ってよく話してる。



Q: 40年続いています、今後はどんなお店にしていきたいですか？

かつきさん: もうね、これはハッキリして、まっちゃんが僕に二代目として譲ってくれたでしょ？僕も三代目って人を見つけて、いつかはこの店を長く存続させる為に、お客さんも長く来てもらうために、移行していかなきゃいけない時期が来るって思ってるの。自分が代替わりをしたときに感じたことは、新しい風を入れる為に、新しい世代の人を入れていかなきゃいけない。そのとき自分がどういう立ち位置にいたいかって言うと、まさしく目標にするのがまっちゃんなんだよね。この箱がただ長いだけじゃなくて、本当に歴史があるって僕も感じるんで、その歴史の重さを良い意味で引き継いでくれるスタッフを探して、長くこの店が続いていけばいいなと思ってるかな。

デリヘルくん: ずっと続いて行って欲しいですね。

かつきさん: すごく長く続いて欲しいと思う。初代のママはこうだった、二代目のママは酔っぱらいでこうだった(笑)、三代目のママは…って感じで語り継がれるくらい50年60年100年って続いてくれば良いなって考えてるかな。

Q: 営業時間前にバラバラやってますよね？

かつきさん: バラバラは基本的に2ヶ月に1回の最終日曜日開催のイ

イベントで、昼から営業前までやってる。5~6年前くらいに、今は別のお店をやっているスタッフが日曜日にカフェをしたんだけど、お客さんからバラバラを是非やってくれと言われてカフェと並行してやってたの。で、3~4年前から僕にバトンタッチして。最初は10人くらいだったんだけど、今ものすごく盛り上がってる。20人30人って来るようになって、やっぱり長く続けると来てくれる人たちと仲良くなったり話しもするようになった。こういう風にイベントを育てていくのもありなんだなって思って、すごく勉強になりました。継続は力なり。

デリヘルくん: ぼくたちも参加出来るんですか？

かつきさん: もちろんです。

デリヘルくん: ちょっと次の機会に！(笑)

かつきさん: ほんと？(笑)言ったね？(笑)

Q: お店の告知や、宣伝などあればお願いします。

かつきさん: 「ママ板のこい」って、年に一回二丁目のママさんが集まってお芝居をやってるの。基本は九州男、GOAL、がいずばのママさんがやってるんだけど、ゲストとしてプラスどっか店のママを入れて、今年の予定は、この3店舗プラスSAMBOのとしくんと、Baseのトシさん。この5人でお芝居をやるって話があるので、まだ日にちも台本も上がってないけど、今年は5月から6月くらいには出来るんじゃないかって漠然とだけ話してるんで、もしよかったら(笑)。



“ SNSでも人気のオシャレカフェ ”

「R」に込められた意味とは? (掲載号:2018年4月号)



朱鳥さん

R Diner

東京都新宿区新宿2-15-2 1F
TEL 03-6273-2367
営業時間 12:00~21:00
定休日 月曜日
(月曜日が祝日の場合は
火曜日休み)



Q: デリバリーボーイズ訪問時のエピソードを教えてください!



朱鳥さん: 元気になってきてくださるんで、お客さんもなんだろうって感じでは見ますけど、こちらとしては、いつもありがとうございますって感じですね。みなさん笑顔で一生懸命やってくださってるんで、偉いなって思って…あれってボランティアでやられてるんですね?

デリヘルくん: そうですね。



Q: cafe にコンドームを置こうと思ったキッカケは?



朱鳥さん: オープンの時に、二丁目のことがわからなくて、ゲイのお客さまに色々教えて頂いてたんですよ。なんだろう…お店始めた時点で結構よそ者じゃないですけど、積極的に入ってって馴染んでかきやうってのがすごいあって、入れて下さい(仲間に)みたいな感じだったんで、はい。

デリヘルくん: コンドームを設置してみようですか?

朱鳥さん: 結構持っていける方いらっしゃるんですけど、お子さんの手の届かない場所に置かずにやまらずいなと思って、こんなこと言ったら恩着せがましく

なっちゃうけど、aktaさんの為に柵作りました(笑)。

デリヘルくん: ありがとうございます(笑)。



Q: 二丁目にお店を開こうと思ったキッカケは?



朱鳥さん: 本当に偶然なんですけど、私もともと学校が文化服装で、新宿はよく学生のときとか遊んで馴染みがあるっていうのと、あとは主人がお金貯めるのに自動販売機のジュースを補充したりする仕事をやって、エリアがこころ辺だったんですよ。なのでこの通りが人通り多いよとか、土地勘があったんで、探してみると、目の前の公園がリニューアルで、そこの向かいに cafe があつたらいいなみたいなのを、大家さんとか管理会社の方が紹介してくださって、他にも内見してたんですけど、結局大家さんがすごい良い人だったんで、ここに。

デリヘルくん: すごいこぼれ話!



Q: お店の前に桜の木もありますが、これも考慮されたんですか?



朱鳥さん: 実はこの桜の木は、大家さんのお父さんが勝手に植えちゃったんですよ(笑)。

デリヘルくん：ええー、そうだったんですか？
(笑)

朱鳥さん：40年くらい前かな？って聞きました。
デリヘルくん：でも、すごいスポットになってるし、お店選びのときにそれもポイントになりましたか？

朱鳥さん：あ、ポイントになりました。オープンが4月10日なんですよ、なのでちょうど桜が満開の時にしたいって言って、ちょっとズレ込んでしまったんですけど。

デリヘルくん：すごいキレイですね。



Q：お店の名前 (R Diner) の由来はなんですか？



朱鳥さん：もともと海外ドラマに出てくるアメリカンダイナーが好きで、それ意識して「なんとかダイナー」にしたかったんですよ。それでロックが好きとか、第二の人生で私たち自営をやる身なので、リニューアルとかリポーンとか、そういう意味で「R」がつく項目が比較的多かったので、R Diner って付けました。

デリヘルくん：わあ〜！そんな深い意味が！！

朱鳥さん：そうなんです(笑)。

デリヘルくん：ロックだったんですね！だから店内の音楽も、見た感じもロックさが出てますもんね！

朱鳥さん：あ、出てます？(笑)、わたしはまったく興味無かったですよ洋楽に。一緒にいて流れるじゃないですか？で、やっぱり興味があるお客さんとか話しについていけなくて、すごい勉強したんですよ、ここ始めてから。なので、ここのインスタは全部お店で流してる洋楽の紹介だけをして、その紹介文を書くのに色々調べたりして勉強してます(笑)。



Q：今、お店で(または個人的に)流行っていることはありますか？



朱鳥さん：あ、うちら2人の間ではボーリングが流行ってます(笑)。

デリヘルくん：ご夫婦で行かれるんですか？

朱鳥さん：休みの日は絶対ボーリング！で、この前も冬休みを頂いて、アメリカのボーリングが好きなんですけど、アメリカのプロの方が日本で試合をするっていうんで、その公開練習を観に行ってきたっていう、店休んでまで(笑)、なのでそれくらい？あと猫の話ししかしないです。家で猫飼ってるので。



デリヘルくん：お名前はなんていうんですか？

朱鳥さん：トラ猫の方が「ティガー」で、白猫が「シュガー」(笑)

デリヘルくん：語呂が良いですね(笑)



Q：お店の告知や、宣伝などあればお願いします。



朱鳥さん：この時期はカウンター席から桜が見えますし、色々食事とか飲み物とか2人で美味しいと思ったものを厳選してメニューにしているんで、よかったです。

デリヘルくん：公式のSNSとかもあるんですか？

朱鳥さん：今Twitter、Facebook、Instagramとやらせてもらってます。あとタンブラー？(笑)

デリヘルくん：タンブラーまで調べたんですか？

朱鳥さん：SNSに全然興味なくて、マスターは携帯すら持ってないんですよ。最初全然わかんなくて、Twitter やったほうが良いって二丁目のお客さんに言われて、それからですね。タンブラーはホームページ代わりに使えるって教えてもらったんですけどイ

マイチわかんなくて、でも



やってらっしゃる方がいいですよ？

デリヘルくん：確かに！おもしろい(笑)、お客さんとのコミュニケーションもあるんですね？

朱鳥さん：そうですね、うちカウンター形式じゃないので、あまり話したりとかはないんですけど、話しかけて頂いたりして仲良くなったり、なのでいつでも話しかけて下さい(笑)。

“ 酔っ払いが超大好き！ ウェルカムテキーラじゃんけん？ ” (掲載号:2018年5月号)



10

輝さん

GOAL

東京都新宿区新宿2-14-3
大木ビル301
TEL 03-3352-6680
営業時間 20:00~翌5:00
定休日 1月1日



Q: コンドームをキッカケに会話になることは?



輝さん: 僕が始めたときって 20 数年前くらいなんですけど、その頃って HIV が超怖い病気みたいな感じで、コンドームとかの意識結構高かったと思うんですけど、だんだん絶対死なない病気になってきたじゃないですか? それから、そういうセーファーな意識って、僕の感覚だと少し薄れてる気がします。わかんないですけどね。



Q: 月に 1 回イベントを開催しているって聞きましたが?



輝さん: 毎年同じくらいの日付でイベントやってるので、もう 1 月 1 日にドンって出しちゃいます。そうするとみんな予定入れやすいじゃないですか?

デリヘルくん: 月に 1 回イベントをやろうと思ったキッカケがあるんですか?

輝さん: 僕はどちらかと言うとお客さんと喋って盛り上げるってよりは、聞くほうが好きってのもありますし、GOAL ってお客さん同士が仲良いですけど、だからお客さん同士を仲良くさせる為には、イベントをいっぱいやって、勝手にお客さん同士が仲良くなってくれると、GOAL 行けば誰か

しらいるだろうって状況に…だから僕は話を盛り上げるのはそんな上手くないですけど、お客さん同士を仲良くさせるのは上手いママだと思います。そういう風にして 10 年間やってきました。

デリヘルくん: ちなみに 5 月のイベントは何があるんですか?



輝さん: 5 月は旅行です。5 月 19 日、20 日が GOAL 夏合宿。はじめて参加しても楽しめるような仕組みになってます。人気投票とか盛り上がるから新しい人もいっぱい来て欲しいです。



Q: ウェルカムテキーラじゃんけんについて教えてください。



輝さん: じゃんけん 2 連勝したら、テキーラ、イエガー、ふんわり焼酎、日本酒、梅酒、ベリーニのどれかが飲めるっていう。あれももうずっとやっています。7 ~ 8 年やってるかな。酔っ払いがうちは多いから、酔っ払ってくれた方がやっぱ盛り上がるので。自分の最大の特徴はね、酔っ払いが超好きなんです。だからかつん(九州男のかつきさん)大好きだし(笑)、酔っ払いに優しい店だと思います。



Q: お店の名前(GOAL)の由来はなんですか？



デリヘルくん: ワールドカップの時期は？

輝さん: 日本戦は店で見るので、そのときは人來ます。だから 4 年に 1 回だけフィーバーしますね(笑)。



Q: お店のママをすることになった経緯は？



Q: お芝居をやられています、はじめようと思ったキッカケは？



輝さん: まずね、これはほんとに僕は巻き込み事故なんです。もともとががいさん(がいずばのママ)が本業は役者、副業がママなんですけど、役者でお芝居やられてたのを、

かつん(九州男のかつきさん)が観に行って、「すごい面白い〜俺もお芝居やりたい〜」ってがいさんに話たら、2人じゃ出来ないからあと1人呼ぼうって言って、「そしたら輝ちゃん誘う〜」って僕のとこ来て、「輝ちゃんお願いことがあるんだけど、お願いを聞く前にまずやるって言って」って…出たこの面倒臭いやつと思って「絶対嫌です」って言ったら、「絶対にやるって言ってくれなきゃ話さない〜」って(笑)、その問答が1時間とか続いてたと思うんですけど、面倒臭くなっちゃって「じゃーやる」って言ったら、「輝ちゃん、がいさんと3人でお芝居やろ」って。芝居かあ〜って、僕はやりたいなんて一切思ってなかったんですけど、かつんも、がいさんも好きだから、まあいっかみたいな感じで始めたのが最初ですね。



Q: お店の告知や、宣伝などあればお願いします。



デリヘルくん: 人狼はイベントであるんですか？

輝さん: だいたい月 2 回で、13時から20時(お店オープンするまで) やってます。参加はタダです。優勝するとボトル無料券ももらえるし、お酒飲みたい人は 2000 円で昼の 13 時〜翌 5 時まで飲み放題なのでお得ですね。16 時間飲み放題(笑)。

“何でもござれ？ (掲載号:2018年6月号) コンセプトに捕らわれない傾きBAR!”



はりーさん

しゃあしか!

東京都新宿区新宿2-14-10

篠原ビル202

TEL 080-9665-4546

営業時間 平日20:00~翌2:00、

週末20:00~翌5:00

定休日 なし



Q: コンドームを置こうと思ったキッカケは?



はりーさん: まあ、お盛んな子が多いので、いただけたらなと思ってお願いしたんですけど。助かってます(笑)。うちすごい消費が早いと思うので(笑)、早いときは金曜日(配布した日)で、全部なくなったりかもしたので、誰持ってくの?みたいな(笑)。

デリヘルくん: でも持ってってくれるだけでもありがたいですね。



はりーさん: まあね、使ってもらいたいですね。



Q: コンドームを置いてみてのお客さんの反応は?



はりーさん: お客さんに絵師さんが好きな人が多いので、それで「あー、この人の絵だ」とか言って、それを持って帰ってる人はいたかなあ?

デリヘルくん: コンドームをキッカケに会話になることはありますか?

はりーさん: モデルさんの写真とか使われてるときは話題にはなります。

デリヘルくん: お店の中で、セックスについての会話とかありますか?

はりーさん: 全然してます。抵抗なく話す人の方が多いですね。



Q: 今、お店で(または個人的に)流行っていることはありますか?



はりーさん: こっちの子たちで流行ってるゲームがあるので、それをやったりとか。自分はお酒のコレ流行りそうってのを探するのが好きです。まあ当たる当たらないはあるので、アレなんですけど(笑)。

デリヘルくん: ジャー、しゃあしか! さんに来たら珍しいお酒が飲めるかもなんですね!

はりーさん: まあ何かしら言ってもらえれば、ちょこちょこは置いてるので(笑)。でも基本甘めのやつが多いかもしれないですね。飲みやすいのが。



Q: …あの…お店が傾いてる気がするんですが?



はりーさん: そうなんですよ、だから基本的に右側に自分傾いてるんです。そうじゃないと水平にならなくて(笑)。最近傾きが増しちゃって、後ろのネオンあるじゃないですか? あれいま左側に傾いてるんですけど、あれはもともと水平器で取り付けたんです。それがまたちょっと1度2度くらいかな? 傾いてる

んで、たぶん二丁目一傾いてる店です。

デリヘルくん：売言葉ですね！

はりーさん：字面だけ見るとちょっと大丈夫かなと思うけど(笑)。



Q：お店の名前(しゃあしか!)の由来はなんですか？



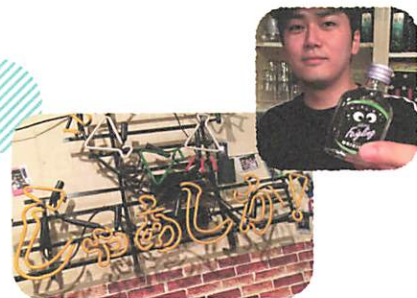
はりーさん：前雇われてた店では一人営業が多くて、一人でずっと喋ってたから、よく「うるさい」って言われてたんです。「しゃあしか」って言葉は福岡で「うるさい」とか「騒がしい」とか、一番「やかましい」がしっくり来ると思うけど、まあそれが由来かな？どちらかと言うとお客さんの方がうるさくなちゃって、由来持たてられちゃったんですけどね(笑)。

デリヘルくん：なるほど(笑)、福岡弁なんですね。

はりーさん：そうすね～。もう最近会話できないくらいうるさい(笑)。

デリヘルくん：え～、どういう状況？(笑)

はりーさん：日曜日とかもうるさいのでウチ、終電までがビヤッと終わって帰っちゃうので、終電までがすごいうるさいときが多くて、地場狂ってるなと思う(笑)。



Q：若くして、お店を出そうと思ったキッカケは？



はりーさん：一人営業も多かったので、店子である必要ないよなと思っちゃって、成るようになるかなと思って出しちゃった。行き当たりばったりで(笑)。

デリヘルくん：なってみてどうですか？

はりーさん：まあ、僕はスタッフに恵まれたので、今一番良い時期かなと思います。

デリヘルくん：スタッフの人も若い感じですか？



はりーさん：そうですね。一番若い子が21歳で、一番年上が今年29歳になる子なので。

デリヘルくん：じゃー全員20代で構成されてるんですね。お客さんの層ってどれくらいですか？

はりーさん：20代～上は50代とかも。でも30代、40代くらいの人が多いですかね。週末は特に。

デリヘルくん：なんか勝手なイメージですごく若いイメージがありました。

はりーさん：とりあえず老若男女頭がおかしい人が(笑)なんかビヤってなってる人が多いので、若いイメージがつきやすいんですけど、そんなに若い感じではないかも。カラオケとかも20代の子は歌謡曲ばかり歌う子が多くて、逆に30代40代の人アニメとかアイドルとかばかりなんで、ちょっと時代錯誤というか(笑)。



Q：お店の告知や、宣伝などあればお願いします。



はりーさん：ゲイバー初めの子が来て欲しいかな。結構多いんですよ、うちデビューが。まあそこから店子になってる子も結構いるんですけど、結構コンセプトのあるお店って多いじゃないですか？うち特にそういうのがなくて、本当になんでもござれりみたいな感じなので、まあ多分初めて来る分にはやりやすいと思う。

一応女の子も同伴OKにしているんで、流石に見えんのは断ってるんですけど、女の子も受け入れられる人ばっかなので、基本的には誰でも絡めるような、横同士の繋がりが出来やすい店なので。まあゲイバー行かなくても生きていけるけど、でも知らずに終わるのはもったいないかなと。難しいですけどね、キッカケがないと。まあ一人でも来やすい店なので、よければ一人でも来て欲しいかな。



“ イエイエイウオウウオウのMAG2さんが語る 感染後のイメージとは? ” (掲載号:2018年7月号)



12

みきおさん

MAG2(MAGMAG)

東京都新宿区新宿2-18-10

新千鳥街2F

TEL 03-3358-5254

営業時間 平日21:00~翌5:00

土20:00~翌5:00

定休日 なし



Q: コンドームを置きはじめたキッカケは?



みきおさん: この店の前まで新宿三丁目で MAGNUM ってお店をやっていて、それを合わせるのもう 14 年? は経ってるんで、確かその頃 akta さんは出来たばっかじゃないかな?

デリヘルくん: そうですね、akta が始まる前にもコンドーム配りがあったと思うんですが、その頃から置いてたんですか?

みきおさん: そのときは僕まだお店やっていなかったんで、週末アルバイトで二丁目の色んな店に入ってたんですよ。

デリヘルくん: 実際にご自身がお店を開かれてから



置くようになったキッカケも教えてください。

みきおさん: 僕はお店を始める最初のときから、どう置いて下さいってことで置いてました。なぜかと言うと、その前に入ってたお店が置いてあったんですよ。だから何か協力ができればと思って、こちらから言ったんです。

デリヘルくん: 長いお付き合いだったんですね。

みきおさん: いえいえ、とんでもございません、こちらこそー(笑)。



Q: お店の名前 (MAG2) の由来はなんですか?



みきおさん: 前の店の「MAGNUM」から最初のアルファベット 3 文字を取って「MAG」。MAG だけだとあんまりイメージに残らないので、それを繰り返して MAGMAG。表記では MAG2 ってなってるんですけど、要するに 2 店舗目、セカンドステージって意味です。

デリヘルくん: ちなみに MAGNUM の由来は?

みきおさん: 大きいとか、強力っていうイメージで付けました。あと僕が「みきお」なので、M から始まる言葉にしたかったの。でもあまりにも敷居が高過ぎるようなイメージになっちゃって、そこで最初レーザーパーティーも始めたもんだから余計にね。



Q: レザーパーティーをやろうと思ったキッカケは?



みきおさん: 僕がお店をやる前、二丁目にレーザーパーティーが結構あったんですけど、無くなっちゃったんです。それでレザバをやりたいという依頼もあって、僕は MAGNUM という店を始めのと、丁度自分もレーザーが好きなので始めたんです。日本国内でやっているとこって、実はうちだけなんです。

デリヘルくん：すごい！次の開催はいつですか？
みきおさん：次は11/23にAiSOTOPE LOUNGEでオールナイトでやります。盛り沢山なので、是非遊びに来て下さい(笑)。
デリヘルくん：レザー新調しなきゃ！！(笑)



Q：お店でHIVや性感染症についてお客さんからの相談経験はありますか？
みきおさん：やっぱり1対1の時しか話し出来ないけど。実際本人がHIVに感染しちゃったってとか、悩んでるって話は聞きますよ。薬をとにかく飲まなきゃいけないって状況のときは、もう飲んでって。飲まずにいたらもっと悪くなってダメになっちゃうし、実際に大昔に亡くなっちゃった友達も何人かいるんですよ。それも抗HIV薬の選択肢がそこまで無い時代なので。今は1日1粒だけでいいとかなってきてるから、少しでも早く治療に繋がって欲しいし、ちょっと体おかしいなと思ったら、検査は行ったほうがいいよってことは言ってます。

デリヘルくん：感染後のビジョンが見えなくて不安に思ってる人も結構いるみたいですね。

みきおさん：HIVって確かに治るって病気ではないけど、抑えることは出来て、長生きは出来るので。逆にそういうことに対して不安を抱くんじゃなくて、もっと健康的に生きれるんだってこと。自分の健康を保持する為に、常に人以上にきめ細やかくなるから、他の病気になる可能性を逆に予防出来るんじゃないかと思う。



Q：今、お店で(または個人的に)流行っていることはありますか？
みきおさん：流行ってることって、昔からずっと「イエイエイウオウウオウ」は言ってるね(笑)。

デリヘルくん：それいつから言ってるんですか？(笑)

みきおさん：MAGNUMのときだから、14年くら

い前からですね(笑)。ずっと言ってきたらいつの間にか「イエイエイウオウウオウ」の店だって言われて、元々他のお店の人たちも言ってると思うんだけど、もうそれを言うやとすぐに、今はMAG2のみきおさんだねって言われちゃうんですよ。言わないと元気ないねって言われます。それが合言葉みたくなくなっちゃってます。新しいワード考えようと思ってるんですけど、すぐ忘れちゃうんです。だいたい酔っ払ったときにそういうの思いつくから(笑)。

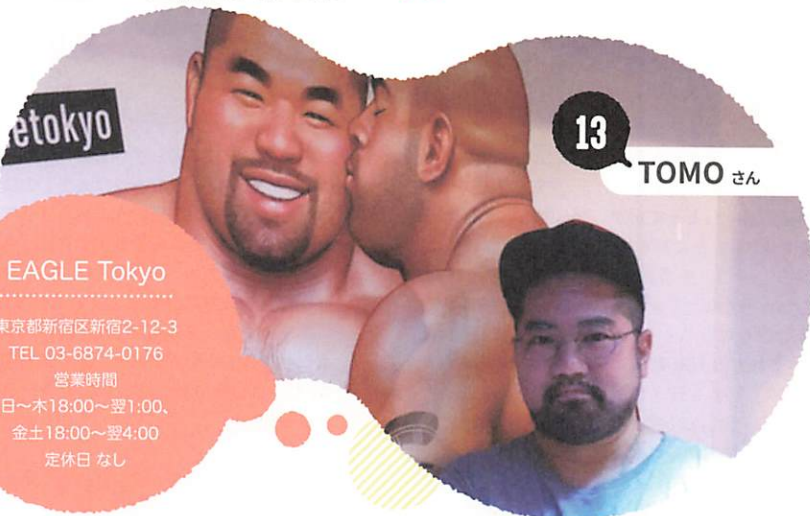
Q：今後、二丁目がどうあって欲しいと思いますか？

みきおさん：今は、年々人が減ってる。金曜日はもう金曜日じゃないよねって話は何の店でも出てます。色んなものが関係してると思うんですけど、テレビで言い過ぎなんですよこの街のこと。観光客が多くなって、ゲイの子たちがいなくなってきた。だからこの街どうすればいいのかああって僕もすごく悩んでます。とにかく今二丁目に人呼ばないとね、だからもっと盛り上げよって意味で、8月12日のお盆休みの時にレインボー祭りをやります。この日はあちらこちらから人が来るので、僕もテキ屋さん…テキ屋じゃないか(笑) 屋台やって待ってるんで(笑)よろしくお願いします。

Q：最後に、どんな人に来て欲しいですか？

みきおさん：そりゃどんな人って言ったら短髪髭の自分の好きなタイプに来て欲しいかななんて(笑)でも幅広いんで、うん(笑)年齢も若い子から年上の人までウェルカムだし、初めての人でもプロでもオッケーです(笑)。昔の色んな話しましょ。話題豊富ですよ(笑) そんな感じかなあ？まあ屋根裏部屋みたいなアットホームな店だと思って下さい。是非皆様のお越しお待ちしております。

“EAGLE TOKYOが目指す ゲイバーの最先端とは？” (掲載号:2018年8月号)



EAGLE Tokyo

東京都新宿区新宿2-12-3

TEL 03-6874-0176

営業時間

日~木18:00~翌1:00、

金土18:00~翌4:00

定休日 なし



Q: コンドームを置いてみてのお客さんの反応は？



TOMO さん: 絵柄で持っていく人もいますよ。結構集めてる方がいらっしゃるみたいですね。でもこのコンドームを配ることによって、割とみんなの意識が変わってきたような気がします。ちょっとずつですけど。コンドームをキッカケに SEX の話とかもしたりするんで、キッカケとしては良いツールだと思います。



Q: お店の名前 (EAGLE Tokyo) の由来はなんですか？



TOMO さん: 「EAGLE」っていうゲイバーはアメリカ中心になるんですけど世界中にあるんです。EAGLE NY とか、EAGLE LA とか、まあ色んなところにあるんですよ。他の国にもあるんですけど、アジアになかったので、東京を最初に作ろうよって話になったんです。で、ここ東京に EAGLE Tokyo を作って、アジアの1号店となったんです。外国の方は訪問した先の国で、この国の EAGLE はどこなんだ？ってまず探すんですね。東京の EAGLE はここなんだってところで外国の観光客が多いんですよ。ただ本場の EAGLE ってどちらかと言うと、もっとダークで、エロティックで、髯生やした毛むくじゃらなペアがいっぱい

るザ・ゲイバーって感じなので、東京はクリーンだねみたいなの(笑)。

デリヘルくん: スタッフの方も多国籍ですよ。

TOMO さん: もともと外国の方が多いと予想していたので、それに対応出来るスタッフとして、日本に勉強しに来ている外国の方中心に声かけました。基本みんな 3ヶ国語くらい喋れるんですよ。なので海外のお客様が沢山いらっしゃるときは、5~6ヶ国語くらい飛び交ってますね。世界の交流の場だと思います。





Q：児雷也さんの大きいイラストがありますか、これは？



TOMO さん：いま SNS が非常に発達しているので、それを使って何か出来ないか考えて、じゃあフォトスポット作ればいいんじゃないかなと思って、絵を描いて頂いたんです。EAGLE Tokyo ってのはここだよ〜って、ハッシュタグ付けて上げてもらってるんですけど、結果それが独り歩きして。なんにも宣伝、広告費かけてないんですけど、Instagram や Twitter とかで本当に世界中に広がって。おかげで世界中からお客様がいらっやして、また来て下さった方が紹介してくれて拡散していくんで、それで今が成り立ってるんです。なのでシンボルを作りたかったって事ですね。EAGLE Tokyo ってあの絵でしょ？みたいな。



Q：Google map で店内まで覗けますよね？



TOMO さん：それもこの時代だからこそなんですけど、やっぱり外国人の方が多くて、実際こういった端末で見れるようにしておけば、来やすいんじゃないのかなと思ってるところですね。元々 1 階なので覗けはするんですけど、なかなか WEB 上で見れるところがないので。とにかく社長といつも言ってるのは二丁目の中で「最先端を行こう」と。EAGLE に行くとなんか新しいよね。あそこなんかいつもイベントやってる感じがするよね。っていう話題性がないとお客さんも飽きちゃうと思いますし、我々も飽きちゃうと思いますし、スタッフもお客さんもフレッシュな気持ちでやっていきたいので。



Q：新店舗「EAGLE Tokyo Blue」について教えてください。



TOMO さん：コンセプトは「青」と「水」をテーマにしたゲイバーです。全体的に照明もブルー系だったり、中に大きい水槽がありまして、海水魚をブルーの魚中心に入れて、お魚を見ながらカクテルを飲む感じの大人っぽいオシャレな空間になっています。基本お酒を飲めるバーカウンターと、奥のスペースでは、週末にイベント開催も出来るようになってます。昼間も使っていただきたいなと思っているので、ライブイベントでも展示会でも、なにかあればよろしくをお願いします。



Q：今後、二丁目がどうあって欲しいと思いますか？



TOMO さん：僕は僕も二丁目に遊びに来て 25 年くらい経つのかな？昔はもっと人が沢山いて、本当に週末とかお祭り？ってくらい人がいたんですよ。今はやっぱり時代と共に SNS が発達しているので、それで済ませちゃう人がいっぱいいて、実際に飲みに来る人が減ってきてると思うんです。そういう人たちに対して、もっと遊びに来て欲しくて。実際に人と話す事って一番いいコミュニケーションだと思うんです。そういう楽しい場を僕たちも提供していきたいと思っているので、その為に新しい若い子たちが集まりそうな事をどんどん提案して、楽しいよって言い続けたい。ちょっとでも興味持ってくれたら嬉しいなと思います。



Q：お店の告知や、宣伝などあればお願いします。



TOMO さん：フリーマガジンや、それに伴った商品を販売したり、色んなところとコラボしてます。この前は台湾のお店とコラボしたんですけど、こういった色んな方たちと協力しながら盛り上げていけたらと思っています。

デリヘルくん：こういう人に来てほしいとかはありますか？

TOMO さん：全然誰でも興味があれば来ていただければ嬉しいです。楽しいなって帰ってくだされば幸せです。



“ MIXBARにメンズオンリーデー！ 継続するのはママの意地？ ” (掲載号:2018年9月号)



外 (がい) さん

14

酔処がいずば

東京都新宿区新宿2-14-10
第二藤原ビル1-1
TEL 03-5379-0757

営業時間 日~木19:00~翌2:00
(金土~翌5:00)
※土曜日はMensOnlyDay

定休日 なし (年末年始
前後3日※大晦日は営業)



Q: デリバリーボーイズ訪問時のエピソードを教えてください！



外さん: ちはMIXなので、ゲイのお客さんはほとんど知っていると思うんですけど、ノンケさんとか「何あの人達」って聞かれて、「デリバリーボーイズの方です」ってまず名称を言うじゃないですか？そうすると、何？デリバリーボーイって、体売ってんの？みたいな事を100%聞かれる(笑)。違うんですけど、そこから質問に対して答えるんで全然いいんですけど、ノンケあるあるですね(笑)。



Q: お店の名前(酔処がいずば)の由来はなんですか？



外さん: お店をやるときに色々考えて、役者をやってるからバックヤードとかさ、でもバックヤードってハッテン場ばいじゃん？(笑)それとかクラブとか、舞台やってるから拍手って意味で、そう考えてたらクラブってもうあるのよ。やっぱり名前考えるときに検索モードにかけていっぱい出てこないかやったわけ。で(考えたやつ)全部出るわけよ、何これと思って。それで自分の名前の「がい」で、もしかしたらこれ英語表記の Guys Bar に引っ掛けてもいいのかなと思って「ガイズバー」にしようと思ったの。で

も英語表記の Guys Bar ってすると、外国の方がいっぱいいらっしゃったときに、英語が出来るスタッフも、僕ともう一人しかいないの。なのでその説明とか色んなこと考えたら、逆に場所の場にしゃべればいいやと思って、がいず「場」。でもそれを漢字にしちゃうと老け専バーみたくなっちゃうから(笑)それを全部平仮名にしたっていう。デリヘルくん: なるほど(笑)場所の「ば」だったんですね！



Q: MensOnlyDay について教えてください。



外さん: これね、かいつまんで言うと、前に僕が働いていたお店で「やそはち」って言うお店だったんです。その時はMIXで、ゲイオンリーって日はなかったんですね。お食事スタイルのお店だったし、役者をやっているの、僕の知り合いもゲイの方よりもノンケの人たちの方が多かったんですよ。で、その人達が来る様になっていて、それを6年やってたんです。それもあって、このバー(がいずば)を始めるときに、そのお客さんが「女の子も嫌いじゃないけど、今度はホモバーみたいな空間も作ってよ」みたいなことを言ったんです。それで、じゃあ土曜日をそう言う日にしようかなって。メンズオンリーなので、ノ

ンケは来るんだけどね。

デリヘルくん：そうなんですか！

外さん：メンズオンリーにするわって言ってその経緯でやったの。でもそのときに作ってって言った当人はあんまり来てないの。でも意地を張って、ずっとやったんですよ(笑)。

デリヘルくん：客層は違いますか？

外さん：全然違う。女の子が苦手とか、事情があってカミングアウトしてないって人がいるでしょ。MIXだから自分はストレートって言い切れればいいんだけど、やっぱり所作とか隙があるじゃん(笑)。誰に会うかわからない「やだ、ねえさん」って言われちゃったら終わりじゃない(笑)。だから女の子がいない日に来る人はいっぱいいる。男ばかりのときの方が、セクシーな空間になるときはあるしね。ホモである以上は色っぽい空間もあった方がいいかなって。



Q：夏に開催されている尺ずばについて教えてください。



外さん：夏限定で、今年は7月～9月の第3土曜日でやってるんですけど。最初の頃って強制じゃなかったんです。そうすると、皆さんオカマ独特の「ルールがあったら従うけど任意だと照れてやらない」みたいな。最初の一年目に、僕とチーママで企画してやったら、僕とチーママとお客さん一人しか六尺にならなくて、あと殆ど着衣だったって言う悲惨なことになったんですよ。それで、若手に引き継いでもらって、完全六尺、黒猫着衣という風になってから、ぎゅっしりお客さんに入ってもらってます。僕とチーママは、その日はお休み頂いて、若手とお客さんでやって頂いてるんで、別のお店みたいです(笑)。



Q：今後、二丁目がどうあって欲しいと思いますか？



外さん：個人的な意見だと、自分がゲイで最初の頃にゲイバーに求めていたことと、感覚が変わっちゃってるの。自分が当初、ゲイバーに出て行ってたときって、出会いとかドキドキしかなかったでしょ。そのときにノンケさんがいるなんて全く考えてなかった。そこが唯一の性的な窓口であり、恋愛の窓口だったから。そういう空間って永遠にあって欲しいなって思いつつも、皆さんが同等に扱われる様になる以上は、もちろんこちらからも拒否できない流入があるわけじゃない。ノンケさんや観光のお客さんと折り合いをつけながら、二丁目が繁栄すればいいと思う。なんて言うか、地球規模の野生動物との共存みたいな、それによく似てるなって。一緒に生きていきましょう、みたいな(笑)。



Q：お店の告知や、宣伝などあればお願いします。



外さん：ウチはこの街でよく言われているのは、がいずばさんが最後の砦だよって。ウチは割と出禁がないんですよ。七年間やっていて二人くらい…結局いるんだ！みたいなね(笑)。ウチは色んな方に来て下さいって感じですが、ただ、気性の激しい、キャラの濃いスタッフとママなので、物をハッキリいっちゃうのが嫌でなければ(笑)。

『 繋がり大切にしているLOGOSさんの 店名に込めた由来と願い 』 (掲載号:2018年10月号)

LOGOS

東京都新宿区新宿2-11-7

第33宮廷ビル2F

TEL 03-3225-1811

営業時間 火~木20:00~翌2:00
(金土~翌5:00)

※日曜日18:00~0:00(~2:00)

定休日 月曜日

※日曜日はスタッフが営業

15

Kimihiko さん



Q: デリバリーボーイズ訪問時のエピソードを教えてください!



Kimihiko さん: みんなすごく明るくて良いですね。本当頑張ってもらいたいと思います。

デリヘルくん: お客様の反応はどうか?

Kimihiko さん: みんなガン見するよね(笑)。今日の子可愛いとかなんだかんだ言ってます(笑)。やさしいですよ、うちのお客様(笑)。

デリヘルくん: ありがたいです(笑)。



Q: お店で HIV や性感染症についてお客様からの相談経験はありますか?



Kimihiko さん: ありました。自分 80年代にアメリカに住んでたんですけど、丁度エイズとかそういうのが大騒ぎになっている真っ只中にいたんですよ。やっぱり自分の周りでもそういう人が出てきて、情報だけは入ってたんです。日本に帰って来て一番最初に付き合ったアメリカ人の彼氏が HIV ポジティブだったのね。彼もそれを僕に告白した上で付き合ったんだけど、そういった分ではいろいろ勉強させてもらったので、相談を受けたときはそれを活かしています。



Q: お店の名前 (LOGOS) の由来はなんですか?



Kimihiko さん: LOGOS ってギリシャ語で「言葉」って意味があって、ゲイバーってやっぱり人と人との繋がりもてる場所なので、この言葉だったらいいのかなって。うち昔カラオケもあったの。カラオケは楽しかったし、コミュニケーションも取れるんだけど、もっとお客様と喋りたいっていう気持ちはず〜とあって、一回取ってみようかって言って、カラオケ撤去しちゃったんです。

デリヘルくん: 逆はありそうなのに。

Kimihiko さん: うちはその逆をやってしまったんです(笑)。

デリヘルくん: よりコ



ンセプトに近いお店になったんですね。



Q: 月1開催する六尺イベントについて教えてください。



Kimihiko さん: 六尺だけじゃなくて、アンダーウェアも OK でやっています。元々こんなに六尺イベントをゲイバーでやってない頃、五丁目にある「無らい(ブライ)」さんに行かれるお客様がいて、連れてってもらったんです。そこで六尺イベントやりなさいって言われたの

がキッカケ。僕それまで絞めたことなかったんだけど、他がやってないから面白いかと思ってやり始めたんです。何回かやって、1回辞めたんだけど、要望があったので、金曜日仕事帰りにちょこっと裸で飲めるような場を作ろうかなと思って、また始めたんです。



Q: 今、お店で(または個人的に)流行っていることはありますか?



Kimihiko さん: 卓球部昔やってて、ちょっと目を悪くして1回辞めて、また2ヶ月前から始めたの。月1で練習してます。一緒に出来る人募集中です(笑)。あとOVEGASってイベントの「やすちんさん」がよくうち来てくれるんですけど、彼が教えてくれるダンスレッスンってのを月1でやってるんです。火曜日の夜。これも募集中!

デリヘルくん: ダンスはどんなジャンルなんですか?

Kimihiko さん: ラテン、ジャズなんだけど、もっと笑い転げてエアロビクスっぽい感じで、ダンスの技術とか関係なく楽しく汗かけるっていうのをやってます。



Q: 今後、二丁目がどうあって欲しいと思いますか?



Kimihiko さん: ノンケも女の子も増えて、なんだろう…昔の二丁目が良かったって言うのも、たぶん今の子ってわからないし、今の子は今の状態が楽しいと思うのね。だからあまりそれを強調しすぎても良くないと思う。そこはキチンとノンケの人達にもルールをわ

かってもらった上で、遊べる街になっていければ良いかなと。ただここ(LOGOS)はやっぱり昔ながらのっていうか、ゲイオンリーの店でやっていきたいなと思います。でも変わりましたね、この街も。自分がいたときなんて真っ暗だったもん表。みんな見られたくないからすぐ店に入っちゃうし。僕がLAとかNYにいたときって、オープンカフェとかいっぱいあったのよ。みんなオープンになって、すごく良いなって思って。その状況が今こっちでも出来てるから、ちょっと一歩進んだんじゃないかなと思いますね。



Q: お店を始めようと思ったキッカケは?



Kimihiko さん: 僕普通のリーマンやってたんですけど、会社の方で、これ以上自分の出世が出来ないとか、会社自体が色々あって。本当は60過ぎたら小さいところで友達が集まれるようなお店を作りたいなってゆう夢があって。それを喋ってたら「この箱空いてるよ」って色んな人に言われて。それが44~45歳くらいなんですよ。ちょっとやってみて辞めれば良いぐらいの軽い感覚ではじめてたんです(笑)。本当はゴールデン街とか、あんな感じの所でこじんまりやりたいなって希望だったんですけどね。なのでチャレンジ(笑)。



Q: お店の告知や、宣伝などあればお願いします。



Kimihiko さん: さっきも言ったけど、うち結構色んなサークル活動(卓球・ダンス)もそうだし、ビアガーデンやバーベキューだったり、今年は沖縄旅行に行ったりとか。そういうイベントとかもやっているの、まあ是非飲みに来て、参加して頂ければなって思います。

うちは本当に、体型とか年齢とか関係ないので、色んなジャンルで楽しんで欲しいし、そういう場をいっぱい設けたいと思ってます。

“ 変わりゆく二丁目！ ニーズにあわせて出来る仕事！ ” (掲載号:2018年11月号)



16
ベリあるさん

DANTOTSU

東京都新宿区新宿2-14-9
島崎ビル401
TEL 03-6457-8595
営業時間 20:00~翌5:00
定休日 年中無休
※水・木は店子さんの営業
たまに木曜日が休み



Q: コンドームを置こうと思ったキッカケは？



ベリあるさん: 他のお店に飲みに行ったときに、コンドームを置いてあるお店が沢山あって「これってなんなんだろう？」って最初はそんな感じだったんです。お店をやるときに、当然ただお店を開けるだけだと akta さんが持ってきてくれなくて、昔 G-men の編集長をした方に「あのコンドームってどうやったら持ってきてくれるようになるんですか？有名なお店にならないと持ってきてくれないんですか？」って話をすると、「いやそうじゃない。これ自分で言いに行かなきゃダメなんだよ」って言われて、そのときに akta さんを紹介してもらったのが最初ですね。



Q: コンドームを置いてみてのお客さんの反応は？



ベリあるさん: 正直うちのお客さん引込み思案なのか、あまりコンドームを持っていく子がいなくて、これを持っていくことで「これからそういうことをする」って思われるのが恥ずかしいって子が多いんです。ただまあお客様の中には、コンドームを付けずに遊んじゃって、感染したって相談にくる若い子もいるんですよ。だからコンドームを指差しながら話す

ことはあるかもしれないです。そんなに多くはないですけどね。

デリヘルくん: じゃー、そういったときのツールになってるんですね。

ベリあるさん: そうですね。まあ堂々と持っていく子達もいますけどね (笑)。



Q: お店を始めようと思ったキッカケは？



ベリあるさん: 仕事を辞めて、親の都合で実家に帰らなきゃいけなくなって、東京から一旦離れたんです。そのときに二丁目働いている友人が大変なことになった時期があって、その子も東京から地方へ戻らなきゃいけなくなって、もうやり直せないみたいなことを言われたんです。自分も正直に言うと、仕事っていう



面でやりがいをもって見つけられてない状態で、自分が復帰出来たら戻って来れるんじゃないかみたいなことを話したことがあって。そのときたまたまお付き合いしてた相手から、こんな話があるよって言われたのが二丁目のママだったんです。まあ当然経験もないから、最初断りに来たんです。でも周りの人達がバックアップするからって言われて。最初は本当のこと言うの薄っすらとやる気があるかないかくらいで始めちゃったです。だからなぜやり始めたかって言うのは友人の為にだって言った方が良くもしいない。まあそう言いながら、本当は自分でやりたいことを探してたんです。

デリヘルくん：そこから心境の変化はありましたか？

ペリあるさん：最初は悪いことしか言われなくて、得体の知れない誰かが突然ママになったって誰が来るんだって。初めはいかにも僕が遠くから見ていた二丁目の夜景の冷たさみたいなのをひしひしと感じてたんですね。でも1年経って、2年経って、頑張ってるやっっていくうちに段々周りが見てくれるようになって、当時に比べたら今の二丁目が好きですね。あのときはそんな風に思えなかったけど、今は大好きです。



Q：今後、二丁目はどうあって欲しいと思いますか？



ペリあるさん：僕もまだ5年目のので、店子経験もないし偉そうなことは言えないですけどね。でもやっぱりメディアに色んなゲイの方や、女装家の方たちが出ることが多くなって、ノンケの方も沢山来てると思うんですね。昔の僕の知ってる二丁目って、中がガラス張りで見えるお店なんて1軒もなくて、どちらかと言うとクローズされた、どのお店も看板にも会員制って貼って、人をあまり寄せ付けぬ感があったんだけど。今逆に女性とかも歩くようになって

きて、当時の二丁目に比べたら華やかになってきていると思うんです。若いゲイの子達も会社でもカミングアウトしてたり、多種多様になってきていると思うので、もしかしたら街がどうこう言うよりは、今ゲイで街に来ている若い子達にあわせて、どんどんこっちが変えてってあげなきゃいけないんじゃないのかなって思いますね。街がこうで、若い子達が合わせなさいじゃなくて、今の若い子達のスタンダードに合わせて変わって行くべきじゃないのかなって僕は思います。だってあの子がいるから、僕らも出来る訳だから。その場を作ってあげるのが多分僕らの仕事なのかなって。まあもう歳なので、そんなぐいぐい引っ張って行けないですけど(笑)、偉そうに言ってます(笑)。



Q：お店の告知や、宣伝などあればお願いします。



ペリあるさん：実はもう大きいイベントは終わってしまっ...(笑) まあクリスマスやお正月も、一生懸命みんなでお料理作ってお待ちしてますんで。

デリヘルくん：お客さんは若い子が多いですか？

ペリあるさん：平成3年の子が多いですね。まあ店でそのくらいの年代の子がいるので、どうしても増えていくんだろうなって。本当は同年代を集めたかったんですけどね(笑)、無理でした。なぜか(笑)落ち着いたお店にならなかったです(笑)。そんなもんだと思います。思惑とは違う方向にどんどん進んでもう止まりません(笑)。



“TAC'S KNOTが掲げる3つの柱! (掲載号:2018年12月号) 関係ないけど太陽のオブジェ!(メディア初!)”

TAC'S KNOT

東京都新宿区新宿3-11-12
永谷クリエイトビル202
TEL 03-3341-9404
営業時間 20:00~翌2:00
(曜日によっては変更あり)
定休日 年中無休

17

大塚隆史 aka タック さん



Q: お店で SEX について話題になることは?



大塚隆史さん: 僕の店は普通にする店だと思うけど。僕はここの店と一緒にスタートしたパートナーを HIV で亡くしてるから、そのことをお客さんも基本的によく知っていて、病気に気をつけるって話は割とよく出ます。デリヘルくん: それはお店を開かれた当初からですか?

大塚隆史さん: いや、うち 82 年オープンで、スタートしたときは HIV がなんなのかみたいな話すらなかった。85 年くらいじゃないかな? ゲイのガンが始まったみたいなことがニュースになったのって。僕がパートナーを亡くしたのは 89 年で、そのときまではハッキリ言って他人事だと思ってた。ただ 88 年には発病して、89 年にあつと言う間に亡くなっちゃうんだけど、そのあたりから、これは本当に深刻な問題なんだと感じた。でも僕のパートナーが亡くなったときはまだ薬さえ認可されていない頃だったので、もうどうしようもないって先生から言われて。ある意味ではほおり投げられちゃったような、そんな時代だったの。でも彼が亡くなって 2 年しないうちに、ある HIV 陽性の方と知り合って色々話をすると、その人は【感染者の会】ってのに通っていて、もうサポートが始まって

た。だから本当 1~2 年でひよっとしたら彼だって生きていたかもしれないんだけど、あのときは為す術もなく、あつと言う間に逝かれちゃった。その 1~2 年は大きいんだなって。その後は僕からみたらあれよあれよと色んな支える体制が出来たりとか、こういう活動が行われるようになって、隔世の感って感じはあるけど。すごい良いことだなと思う。ここでは HIV の話題とかも結構するし、活動してる方もいらっしやるから色んな話も聞くけど、でもまだまだ問題は山積してて、その辺の話を聞くと根の深い問題なんだなって思うけど。



Q: お店の名前(TAC'S KNOT)の由来は何ですか?



大塚隆史さん: TAC っていうのは僕の名前で、僕は 大塚隆史 っていうんだけど、隆史(タカシ)っていうのを僕がアメリカにいたときになかなか覚えてもらえなかったの、短くして TAC(タック) っていうんでもらったのが、そのままずっと残ってて、タックと呼ばれてきた。僕はずっとアート作品を作り続けて、お店をオープンした頃はノッティングって言って、縄を縛って造形するような、そういうジャンルのアートをやってたんです。タックのノットって言うこ

とで、タックスノットって。タックの結び目って
いう名前にして、まあ人と人とも結べたら良いか
なみたいなの、そんなのをかけて、そういう名前に
したの。



Q：扉についている太陽のオブジェについて教えてください。



大塚隆史さん：営業中ってサインとして使ってるんですけど。あれって太陽で、僕は太陽を結構使ったりするんで、僕の作品だと思ってる人が多いんだけど。あれはね、お客さんの忘れ物なの(笑)。パーティー帰りのお客さんと、そんなしょっちゅう来る人じゃなかったんだけど、アレを被って入ってきたの。「何それ？」って聞いたたら、今日のパーティーで当たったかと言って、一頻り話して、そのお客さん帰っちゃったの。太陽のお面は忘れられていて、いつか取りに来るかなと思って、コート掛けに掛けといたの。でも全然取りに来なくて、捨てちゃおうかなとも思ったんだけど、いや待てよ、これ看板に…(笑)と思ってドアにかけてたら、今や TACS KNOT のトレードマークに。



Q：お店のコンセプトについて教えてください。



大塚隆史さん：お店を開くにあたって3つの柱を立てたんです。1つはギャラリー。月変わりで展示をするってのを大きな柱の1つとしてます。もう一つは、僕は男同士のパートナーシップにすごい関心があり、自分もそういうものを大事にしているので、パートナーシップを応援するようなバーにしたいと思ってたんです。それまでは二丁目にはバーは沢山あるけど、番(ツガイ)でいることはなんかちょっと秘密にしているような雰囲気があった。だからそれを逆に応援するようなことをしたくて、カップルとして認めているうちに、ああいうのだったらやってみたいとか、ある種のモデルケースを沢山見られるような店にしたいなって。で3つ目は、店内を明るい店にしようって。36年前の二丁目



て、やっぱり全体的に秘密めいた色合いがあって、お店もちょっと暗め？酒を飲むところだから暗いのは当たり前なだけけど。今はカフェみたいなのは当たり前になったけど、自分としてはカフェっぽいのがきくと欲しかったんだろうなって。明るくて、お酒も飲めるけど、コーヒーも紅茶も同じ感覚で飲めるっていうお店にしたかったんで。そんな感じかしら。長くなりましたが(笑)。



Q：お店の告知や、宣伝などあればお願いします。



大塚隆史さん：うちカラオケもないし、話をするのが中心の店なので。ネットでバッパとやっていくのとは違う人間関係の作り方もあるってのを楽しみに来てもらえたらいいかなあ。やっぱり生で話をするのでしか見えてこないものも沢山あると思うから。それはうちのお店に限らず、二丁目には色んなところがあるし、自分にあったお店を見つけるのがまず大変だから、ひとまずアートだとか、明るいか、昔話が聞きたいって人がまず来てもらって、気に入ったら残ってくれば。



“カップルの営むスポーツバー！ 子はかすがいじゃないけれど...” (掲載号:2019年2月号)



左: よっすい〜さん

Paradise BLUE

東京都新宿区新宿2-18-10

新千鳥街ビル2F

TEL 03-6662-6504

営業時間 18:00~(火20:00~)

定休日 毎週月曜日、第一日曜日

www.paradiseblue.jp

18

右: たあくんさん



Q: デリバリーボーイズ訪問時のエピソードを教えてください!



たあくん: 結構お話ししたりしてます。

よっすい〜さん: 名札を下げてるじゃないですか?あれに書いてある内容に突っ込ませて頂いたりとか。いらっしゃる方のキャラもバラエティに富んでるので、イジリ甲斐あるなって子が来てくれると、みなさん手ぐすねを引いて(笑)悠長に受け流されるよりはオドオドしてる方が面白いですね(笑)。

たあくん: お店の中って入らないとどんなお店かわからないじゃないですか?でも活動を通してならお店の雰囲気や、お客さんの感じとかもわかるので、やって面白いって話は、話したことがあります。

よっすい〜さん: 気に入ったところがあったら、後で個人的に行くって話もしてたし、実際に何人か来ていただいた方もいらっしゃいましたよ。

たあくん: だから面白いですよ、そういう交流の場が出来るのって。



Q: コンドームをキッカケに会話になることは?



たあくん: なんでコンドームを置いているのか、お店側が用意していると

思っている人もいて、aktaさんが補充してくれるんだよって話になることがよくあります。

デリヘルくん: コンドームをキッカケに、バーの中でセックスの話とか、性感染症の話になることってありますか?

たあくん: コンドームもだけど、色んな資材も配ってるじゃないですか。それが会話のきっかけになることが多いですね。

よっすい〜さん: そういうのが置いてあるから、ここだったらそういう話を切り出していいんだらう、みたいな。平日にお客さんが少ないときとか、1対1のときに、ちょっと聞いてもらっていい?みたいな感じで話になる時があります。





Q: カップルでお店をやっている良かったことは?



たあくん: 同じ目標を目指していけるとか、「子はかすがい」じゃないですけど、ここが子供みたいなもので。同じことを共有できる場所になっている。そういうのがここになっていてそれは良かったかなって。

よっすい〜さん: お店とかお客さんに支えられて二人の関係が続いているっていうことがすごく大きいですね。

デリヘルくん: 二丁目の中でカップルでお店をやられるところってあんまり聞かないんですね。

たあくん: あんまりないと思います。

よっすい〜さん: うちってお客さんのカップル率高いと思うんですよ。やっぱり色気営業のところだと、カップルでお客さんとして行きにくいとか。ここはそういう危険性が全然ない。お友達の家に行く延長線みたいな(笑)。

デリヘルくん: 個々での営業の違いはありますか?

たあくん: 面白いのは、それぞれの営業日だけに来る人もいて。もちろん関係ない人もいますが、お客さんによっては、どっち側についているってことがあります。

よっすい〜さん: もしかしたら曜日の関係で、たまたまその人が来やすい曜日が自分だったりこの人(たあくん)だったり、会う回数が増えたから馴染みになったっていうのはあると思うんですけどね。



Q: 今、お店で(またはお2人の中で)流行っていることはありますか?



たあくん: うちスポーツバーなんです。

よっすい〜さん: 自称なんですけどね。実際にやるのもそうですし、テレビでスポーツ中継があるときは必ず流してみんなで観てるんですよ。なのに、みんなにうちがスポーツバーって話をすると「初めて聞いた」って言われるんです(笑)。

デリヘルくん: ジャーオリンピックも流してるんですか?

たあくん: 普通に水泳とか陸上とかでも。

よっすい〜さん: もちろんラグビーとか柔道の方がウケはいいですけど(笑)。

たあくん: ずっとオリンピック流してます。元々好きなので、家でもその話ばかりしてますね。



デリヘルくん: 今年はラグビーもワールドカップがあって楽しみですな。



Q: ネットが普及していますが、二丁目ならではの楽しみ方を教えて?



よっすい〜さん: やっぱりたまたま隣り合わせた年齢も職業も全然関係ない人と、その場でたまたま同席したことをキッカケに話しが出来るってすごく稀有な体験だと思って。色んな見識が広がるキッカケとしてやっぱり二丁目は素晴らしいところだと思うので、そういう部分もネットとは違うかなと思います。

デリヘルくん: ネットとかだとターゲットを絞って出会ったりしますもんね。

たあくん: そうですね。ホームパーティーとかやるのも全然良いと思うんですよ。だからうまく使い分けてくれれば良いのかなと思いますけどね。

よっすい〜さん: あとは、最初のキッカケとしては観光としてテレビでやって面白そうだから行ってみよう!それは全然良いんですけど。それをキッカケとしてこの街のことを好きになって、好きだから遊びに来たい!って人が、増えてくれればいいな。



Q: お店の告知や、宣伝などあればお願いします。



たあくん: 去年10周年を迎えて、今年11周年になります。毎年周年パーティーを5月の末の週末にやってるんですけど、まだ詳細は決めてませんが、5月末にやることは決まってるので告知させていただければ。

デリヘルくん: こんな人に来てもらいたいとか、お店をアピールすることがあればお願いします。

た: 本当にうちの場合、体型や年齢はまったく問わないので、どんな方でも楽しく飲める方だったら。

よっすい〜さん: 泡盛とオリオンの生ビールが売りなので、好きな方来て下さい。

“今明かされる!?”

DJブースの名前とその秘密! ” (掲載号:2019年3月号)



ALAMAS CAFE

東京都新宿区新宿2-12-1

ガーネットビル1F

TEL 03-6914-9215

営業時間 月~木18:00~翌2:00

金土18:00~翌5:00

日15:00~24:00

定休日 なし

<https://aliving.net>

ぶんた。さん

19



Q: コンドームを置いてみてのお客さんの反応は?



ぶんた。さん: あの黄色い集団は?って聞かれたことはある。コンドームくれる人達だよって説明してます(笑)。

デリヘルくん: ユニフォームの色ですね(笑)。コンドームを設置しての反応はありますか?

ぶんた。さん: デザインが変わったりすると注目する人がいたりしますね。海外のお客さんが週末は多いので、見つけてビビッと持っていく感じですかね?



Q: DJブースが特徴的ですが、CAFEにDJブースを設置したキッカケは?



ぶんた。さん: なんか元々ここがお蕎麦屋さんだったらしくて、いまDJブースがある場所ですば打ちを見せてたっていう話は聞いたことあるんですよ。

デリヘルくん: そーだったんですね!びっくり!!

ぶんた。さん: そうそう。で、うちの系列店はどこもDJ機材が置いてあって。やっぱりお客さんに楽しんでもらう為に音楽をって感じですかね。うちの店は毎月決まったプログラムがあるので、もう10年経つ番組もあります。番組によってジャンル

もバラバラだったりするんですけど、音楽かけるだけじゃなくて、MCで喋る番組とかもあったり。その番組だから来るお客さんとか、たまたまDJを聞いて入ってくるお客さんもいますし、DJのプログラムってのは結構重要なポイントになってきてますね。



Q: ALAMASさんの月替りメニューって誰が考案してるんですか?



ぶんた。さん: このお店が10年になるんですけど、今レギュラーであるメニューは、10年ずっと味が変わってないんです。マル秘レシピがあって、それを作る。で毎月変わるメニューは初代店長がフードコーディネータとして毎月作ってくれて、それがレギュラーメニューになったりとか。実はうちの唐揚げ井とか、アラマスパバーとかも元々限定で出していたメニューがレギュラーになったっていう。

デリヘルくん: 作るにあ



たって、研修みたいのってあるんですか?

ぶんた。さん: 研修ってものはないんですけど、限定メニューを出すときに試食会ってのは実はやって。提供する前にうちの会社の事務所に上げて、そこで検討を重ねて限定メニューが出来上がって

いくんです。

デリヘルくん：アラマスさん入るスタッフの方は基本条件として料理が出来ることとかあるんですか？

ぶんた。さん：アラマスで働く条件は「平日に勤務出来る方」「深夜帯の勤務が可能な方」「料理が得意な方」「男女問わず元気な 20 代～ 30 代前半の方」らしいですね(笑)。でも、まあ元気な人！一番重要なのはここですかね。

デリヘルくん：じゃー特に料理が出来なくても OK なんですな？

ぶんた。さん：僕もそんなに得意じゃなかったですけど。教えてもらうのもだけど、意外と(アラマスには) 代々職人みたいな人が多かったから、見て覚えるじゃないけど、吸収出来るものが沢山あります。アラマススタッフ超募集中です！(笑)



Q：今、お店で(または個人的に)流行っていることはありますか？



ぶんた。さん：店長と一緒に 2018 年末から「朝活」をして。僕たちこういう職業なので平日早くても帰るのが 3 時とか 4 時になっちゃうんですけど、それに甘んじて夕方まで起きないってのを辞めて、昼には起きて何かしらするっていうのをやっています。その朝活を今年はジムに行く時間にしようって 2 人で言っていて、2019 年はモテを目指してキレイな自分になるっていう(笑) その行く末にはアラマッコカフェ(笑)。

デリヘルくん：今年はもしかしたらアラマッコカフェが？夏場が楽しみですな(笑)。

ぶんた。さん：夏までに店長とカラダ作って頑張ります(笑)。



Q：お店の名前(ALAMAS CAFE)の由来はなんですか？



ぶんた。さん：うちの系列店舗ってみんな「A」が付くんですよ。

「AISOTOPE LOUNGE」「AiIRO CAFE」「AVANTGARDE TOKYO」「ALAMAS CAFE」も頭文字 A なんですけど、「ALAMAS」ってタイ語で「ダイヤモンド」って意味らしいんですよ(ALAMAS CAFE 調べ)。それが由来だって聞いたことがあります。で、また最近知った話なんですけど、ここの DJ ブースが「ダイヤモンドスタジオ」っていうらしいです(笑)。僕もしらなかつたんですけど。



デリヘルくん：そうだったんですね！初めて知った(笑)。でも元々はそば打ちを見せる場所だったんですよ(笑)。

ぶんた。さん：元々はね(笑)。まあ「A」がつくってのがポイントですかね！うちの月刊誌も「A living paper」って A が付いてます。



Q：今後の目標や今後、二丁目がどうあって欲しいと思いますか？



ぶんた。さん：最近店長とよく話なんですけど、二丁目でせっかくこんな良いところがあるのに、二丁目カルチャーだけやるのはちょっとどうなんだろうって。例えば渋谷とかで DJ やっている方を呼んで、そのお客さん達が二丁目楽しいねってなって他のお店に行くとか。そういう繋がりが増えれば良いかなって思うんですよ。2019 年はプログラムとかも改正して、ストレートのお客さんとも二丁目を盛り上げられたらと思うんですよ。その反面、ストレートの方が苦手だって人もいるから難しいバランスになってくるけど。二丁目だけじゃなくて、そういう外のカルチャーとかも広げていきたいですね。



“あらゆる境界を超えて集う 新宿二丁目のボランティア活動!”

(掲載号:2019年1月号:特別版)



中: 中根さん 右: フランキーさん

左: RENTOくん

20

プロジェクト名
デリバリーボーイズ

東京都新宿区新宿2-15-13

第2中江ビル301

TEL 03-3226-8998

活動時間 20:00~23:00

※初参加の場合は19:30より
オリエンテーションを行います

活動日:毎週金曜日

基本第3週目の金曜日は
配布をお休みして
勉強会を行っています。

akta.jp/delivery-boys/



Q: デリバリーボーイズをはじめたキッカケを教えてください。



●フランキー: 地元シアトルでも HIV 予防啓発のボランティアをして、日本に来るときにやっぱりボランティアは続けたいと思って、ゲイボランティアなどで検索したらaktaが最初に出たので来てみました。

●中根: 前から活動については知っていましたが、「ボーイズ」って付いていたので女性は出来ないと思ってたんですけど、そうじゃないと知ったので始めました。

●RENTO: RAINBOW PRIDE で、僕がフリーハグをしたときに、他のゲイイベントで知り合った方が横に来てaktaの宣伝をしてたんです。そのときはaktaが何か知らなかったんですけど、デリバリーボーイズってなんだろう?コンドーム配るの?ってワクワクして、ニペロでメールして応募しました(笑)。



Q: BAR の人たちやお客さんとのコミュニケーションで印象に残っている事は?



●フランキー: あるお店では、資材の説明などをすると「日本語上手いな」って毎回言われる(笑)でもみなさんすごく優しいか

ら、嫌な感じにならないです。

●中根: 私は、あるお店ではテキーラショットを出してくれるようになったり(笑)タダ酒でごめんなさいって言いながら飲ませてもらってます(笑)。

デリヘルくん: テキーラガールって呼ばれてるもんね?(笑)

●RENTO: 活動中はみんな名札を下げてるんですけど、この前名札を見なくても顔で名前を呼んでもらったときに、あ、覚えてもらってると思って、継続する意味を再確認して少しやり甲斐を感じました。



Q: みなさんの活動を継続して行うモチベーションはなんですか?



●RENTO: 僕は今は店子をするんですけど、働いてると知らないお店にフラッと行くのって、意外と難しかったりします。だからボランティアって名目で色んなお店に行けるのが、今のモチベーションになってます。

●中根: 私はお店を回るのも楽しいんですけど、活動を通して色んな人に会ったり、メンバーと話せ

るのが楽しくて。普段会えない人と話すのってすごく元気になるので。それがモチベーションです。

●フランキー：最初の方は楽しさで参加をしたけど、最近お仕事だって意識でモチベーションをもらってます。前に活動してた人たちのお陰で、私は簡単にコンドームを手に入れることが出来るので、私も次の世代の人達の為にコンドームを配らなきゃと思って参加してます。



Q：ネットでの出会いがある現代で改めて二丁目に来る理由は？



●RENTO：僕はもともとアプリやインターネットで知り合った人と、その場のノリで関係を持つのが好きじゃなくて。リアルな環境で出会った人と仲良くなりたいタイプなんです。だから僕は実際に会って、話してってのを大切にしています。でもやっぱり若い世代ではネットで知り合って、会ってすぐにその相手がどんな人か分からないまま、体の関係を持って後から後悔するってパターンもあると思います。ネットで会えることも大切だけど、ネットが普及してる時代だからこそ、逆に会って話してどんな人かを知るって事が大切だと思います。

デリヘルくん：なるほど、その中でデリバリーボーイズはどういった位置付けになってますか？

●RENTO：仕事（店子）以外に二丁目へ来る理由としてデリバリーボーイズがあります。ボランティアが出来て、コンドームももらえて、お店にも行けて、交通費も出るって（笑）。僕には一石何鳥にも感じています。



Q：女性としての活動への参加で見えてきたものはありますか？



●中根：やっぱり性別とセクシュアリティがみんな違うから、理解できない世界も多いかなって思ってたんです。でも意外とわからないはわからないなりにここにいるって許されるというか、外からの人もいていいんだなって。お店に入っても、女性が来たからってめっちゃ嫌！って感じの反応は今までなかったし。だから本当にセクシュアリティ関係なく普通の人間として受け入れてくれてる感じがありました。



Q：海外での活動と日本での活動の違いがあれば教えてください！



●フランキー：海外での活動はコンドームではなく冷凍ご飯を配っていました。二丁目みたいに同じ場所にお店が沢山集まって、コンドームを配れるようなゲイタウンはあまりないと思うので、日本の新宿二丁目ならではの独特な活動だなと思います。でも必要な人たちへ何かを配るといったスタンスは海外も日本も同じだと思います。



Q：みなさん、活動に関して最後に一言メッセージをお願いします。



●RENTO：僕が初めて参加したときに、すでに作られているコミュニティの中に入るのってすごく難しいって想いがあったんです。でも入ってみたらすごくウェルカムで、みんな話かけてくれるし。思ってるよりも怖がるようなことはないなって思ったので、気軽に参加して欲しい（笑）。

●中根：若い子多いけど年上の人に来てくれても場が引き締まって有り難いし。あんまり自分の性別や年齢に捕らわれずにフラッと来てくれれば。そのフラッと来てくれる人たちの継続で今日があると思うので。

●フランキー：一人で参加するのがちょっと怖いと感じる人は友達を誘ってみても良いかもね。

What's DELIVERY BOYS



community center akta を拠点に、毎週金曜日にお揃いのユニフォームを着て新宿二丁目に飛び出し、健康に関する様々なアイデアを届けることを目的に、コンドームを配布するボランティア活動です。



DELIVERY BOYS

いろんな
お店に入れる！！



2019年3月現在、約170店舗のBARやクラブにコンドームの配布をしています。お店のジャンルは様々。1日のうちに多くのお店の雰囲気を楽しめるのは、デリバリーボーイズの特権♪ 気になっていたお店もチェックすることができちゃうかも！？

かわいいユニフォーム
が着られる！



お揃いのユニフォームはツナギとTシャツ。どちらもポップでおしゃれ！街の雰囲気にも溶け込んでいるよ。ちなみにぼくはツナギが着たくてボランティアを始めたんだ！



さあ一緒に活動しよう！

デリヘル君が教える

4 POINT

楽しいメンバーと
ワイワイ♪♪♪



毎年たくさんのメンバーがボランティアに登録！年齢やセクシュアリティにとらわれず、「誰でも」参加できるよ。親友になった友達もたくさん♪ ※活動時間の都合上、参加できるのは18歳以上（高校生はNG）となります。

月一回の勉強会で
ステップアップ！



毎月第三金曜日には、知識やリアリティをアップデートするための勉強会を開いているよ。他にも日頃お世話になっているBARの方へ感謝をお届けするイベント「デリフェス」企画運営もみんなでできる！歌って踊って飲んで騒いで楽しもう！

DELIVERY BOYSに参加するには？

akta DELIVERY BOYS 検索

で検索しよう！！

「ボランティアに応募する」より、ガイドラインを読んだ上で必要事項を記入して送信しよう。

「デリバリーボーイズ参加希望」と明記するのを忘れずにね。電話やメールからの連絡、直接aktaに来場して参加意思を伝えてもOK！もちろん1回からの参加でも大歓迎！



オリジナル コンドーム

様々な方とコラボして制作したオリジナルコンドームは、200種類を超えます。新しいコンドームはお店で話題になるので、たくさんの方の目に留まるよう心がけています。



活動の流れ(当日) ※初回参加者

● オリエンテーション/19:30～

初回はaktaやDELIVERY BOYSの説明を受けるよ。

● 着替え/20:00～

お揃いのユニフォームを着ると気分は上々↑↑
おしゃべりも弾む♪

● チーム分け～出発前の申し送り/20:20～

配布は二丁目を4つのエリアに分けて、分散して配りにするよ。
そのチーム分けと、本日の配布物や注意事項の確認をするよ。

● いつものかけ声

出発の前に恒例のかけ声をして、士気を高めよう！

「今日も元気にLET'S DELIVERY!!」

● アウトリーチ

ここからはチームごとに行動！

コンドームは1つの箱に20個入るので、数を数えて減っている分だけ補充！

他に配布物があるときは、その説明をしよう！

ときにはお店の方や、お客さんと会話をしながら街のニーズを拾い上げてくれるのも役割の1つ！

二丁目って歩いてみると結構広い！

● 情報共有

(配布後のミーティング) /22:00～

今日あった面白いこと、連絡事項を伝えよう！どんなことでもOK！

あなたの感じたことが僕らの活動を変えるかも？

● 日記

今回は初参加でしたが、普段なかなか行けない二丁目のお店に入れたことがすごく新鮮でした…



続きはWEBで

● 解散/22:30～

仲良くなった友達とそのまま夕飯へ出かけたり飲みに行ったりすることももあるよ！

● DELIVERY ADULT

他にも、毎月1回、都内のハッテン場やゲイショップにセクシュアルヘルスに関する様々なアイデアを届けるボランティア活動もあるよ！

LET'S JOIN ... DELIVERY BOYS!!

デリヘルくん



デリヘルくん



DELIVERY BOYS

過去akta monthly paperにて掲載していた4コママンガ「デリヘルくん」(2007年4月号~2010年9月号まで)
デリバリーボーイズの活動を通しての様々な出来事をおもしろおかしく描いています。今回はBARインタビューであるあるネタとして、紙面では取れない面を約9年ぶりの描き下ろし4コマにてお届けします♪
※過去の4コママンガは、デリバリーボーイズwebページにて読むことができます。http://akta.jp/delivery-boys/4coma/



新宿二丁目にある HIV をはじめとしたセクシャルヘルスに関する情報センター & フリースペース。

10代～様々な年代の LGBT の人たちが訪れています。2003年の開設から10万人以上の人々が来場しています。

新宿二丁目のインフォメーションセンターとしても気軽にご利用ください。



●どなたでも無料。



●待ち合わせ・ひと休みに使える。



●イベントフライヤーやバーマップを手に入れる。



●DELIVERY BOYSに参加する。



●LGBT等の事を知る。マンガや雑誌、陽性者の手記集を読む。

●コンドームがもらえる。



●他にも...

展示会やサークル活動、ミーティングなどで使う・参加する。
サポート情報を知る、相談する。充電をする。無料WiFiを使う。

※コミュニティセンターaktaへのアクセス・問い合わせなどは49ページをご参照ください。

— デリバリーボーイズ成り立ち

二丁目のバーママたちの有志が、 Condom ームを店に置きたいと考えて自主的に「Project.com (通称プロコム)」という活動をはじめました。

2003年にコミュニティセンター aktaが開設されて、aktaの前身団体「Rainbow Ring」の「DELIVERY HEALTH BOYS (通称デリヘル)」が、プロコムを引き継ぐカタチとして活動を継続してきました。当時は Condom ームを置く事で、自分の店で「HIV/エイズ」の話題が出ることを警戒する空気もあったようだが、毎週おそろいのユニフォームを着た DELIVERY BOYS が二丁目の街にくり出し、お店で顔を合わせたコミュニケーションを重ねることで、少しずつ信頼関係が生まれ、配布店舗を増やしてきた。現在ではお店側から置かせてほしいと声をかけてもらえるまでになる。

— BARに Condom ームを置く理由

Condom ームをセーファーセックスのアイテムとして多くの方に使用してもらいたいのは大前提としてありますが、BARというお酒を飲みながら楽しむ空間の中で、SEXや性感染症などの話題は扱いが難しく、タブー感が生まれがちです。その一方で、すでに HIV を持っている人にとっては、自分を否定されているように感じてしまう恐れがあります。もう少しフランクに話題にできるキッカケづくりのツールとしても、Condom ームが役に立てればと思っています。

— Condom ームの設置条件

- ・活動の趣旨を理解し、自ら設置希望を伝えて来たBAR (新宿二丁目を中心とした周辺のBAR含む)
- ・活動の範囲として、aktaから離れすぎでない事 (三丁目、五丁目くらいまで)
- ・Condom ームと一緒に募金箱の設置が可能な事。
- ・毎週金曜日 (第三週目を除く) の20時~22時くらいの間に、ボランティアスタッフが訪問する事への理解。

編 集 後 記



このインタビューを通して毎回感じるのは、インタビューを行ったあと、そのお店のことをもっと好きになっているということ。そして二丁目のことももっと好きになっていました。普段は Condom ームを届ける際、ほんのちょっとした滞在時間でしかお話をする機会がなかったけど、じっく

りとお話を聞いてみると、そのお店ごとに色があって、アウトリーチ中では知ることの出来なかった考えや、この街に対する想いを聞くことが出来ました。お店を知ること、それは二丁目を知ることでありました。

それぞれのお店にドラマがあって、その1つ1つが二丁目を作っている。僕たちの活動もまた、お店や街の人たちと一緒に育てていくのだと改めて感じた、そんなインタビューでした。これからも、そんな沢山のドラマがつまっているお店のインタビューを録っていきたいなと思います。(デリヘルくん)

2017年8月号から始まった「デリヘルくんが聞く! 突撃インタビュー」も20回を迎えました。最初のインタビューでお世話になった Base の Toshi さんを始め、多くのバーのマスターにお世話になりました。

HIVをはじめとした性感染症の話題が、ゲイバーの中でどのように扱われているのかを今回のインタビューを通して教えていただきました。aktaで作成し、配布している情報が持つ重要性和それを作ることの責任を想像し、どのインタビューでも身の引き締まる思いがしたことを思い出します。お世話になった皆様、ご協力いただきありがとうございます。

この本を手にとって読んでくださった皆様、ここまで読み始めて頂いてありがとうございました。皆さんの知っている、かよっているお店はありましたか。写真やインタビューの内容で、行きたいお店が見つかったのなら嬉しいです。ある時期まではかよっていたけど、今は足が遠くなってしまったお店も、インタビューの中にはあるかもしれません。この冊子が、そんなお店に徐々に顔を出してみようかなと思ったり、話を切り出すきっかけになったら良いなと思います。(デバヘルくん)



akta monthly schedule 特別編集
デリヘルくんが聞く！突撃インタビュー！！

発行日：2019年4月

企画・発行：akta

進行管理：木南拓也

編集・デザイン：村上ひろし

イラスト：木南拓也

協力：湯見陽、藤原孝大

問い合わせ：community center akta

〒160-0022

東京都新宿区新宿 2-15-13 第2 中江ビル 301

TEL：03-3226-8998

FAX：03-6380-0575

E-mail：info@akta.jp

この冊子は、2019年度厚生労働省委託事業
「同性愛者等向けコミュニティセンターを活用した広報等一式」
で作成されました。

※このインタビューは2019年3月までに掲載していたものを
そのまま掲載しています

無断コピー・転載お断り



community center akta

東京都新宿区新宿2-15-13第二中江ビル301

開館：16:00～22:00（火・水曜・年末年始除く）

URL：akta.jp

問合せ：info@akta.jp

TEL：03-3226-8998

FAX：03-6380-0575

HIVcheck.jp

HIVの検査キットを配布しています

HIVマップ
すぐに役立つHIVの情報サイト



ゲイ・バイセクシュアル男性をはじめ、全ての人に
すぐに役立つ予防・検査・相談・支援の窓口や
基礎知識など。



DELIVERY
BOYS

